

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

総務課 設定者 総務課長 富 岡 啓 二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
来庁者の利便性や満足度の向上につながる庁舎の改善を毎年度実施する。	来庁者や職員とともに取り組む 庁舎環境の改善事業	来庁者や職員などから庁舎環境の改善につながる意見を求め、提案された意見に基づく改善を5件は実施する。	受付案内や電話交換の業務従事者から毎日報告される業務報告について、すぐにできることは数日以内に取り組み、日数を要するものについても2～3週間以内にに取り組む。	総合案内所に寄せられた意見などを元に、施設予約情報の充実や、市民ロビーの温度調整、英語表記によるマスク着用の掲示、庁舎玄関の自動消毒器の固定など、来庁者の利便性向上や満足度向上につながる取組を実施した。
行政手続の適正化と透明化を図るため、行政手続法に基づく処分を行う際の審査基準や処分基準等の見直しを行い、併せて文書管理の適正化を推進する。	行政手続法に基づく審査基準、処分基準等の見直し及び文書管理の改善業務	申請に対する処分や不利益処分が、見直し後の審査基準や処分基準に基づき、公平・公正に行われている。 市の公文書の管理が、ルールに従い適正に行われている。	行政手続法に基づく申請に対する処分の審査基準及び標準処理期間並びに不利益処分の処分基準について見直しを行い、令和4年3月までに公開する。 また、公文書の適正管理を推進するため、文書管理の巡回点検・指導を実施する。	行政手続法に基づく処分基準等の確認・見直しを、該当する部署において行い、処分基準等のリストを公開した。 文書管理の巡回点検を、45の部署において実施し、点検結果に基づく指導を行った。 文書管理の巡回点検については、令和4年度も別の部署において実施する予定である。

令和3年度 秘書課の組織目標及び組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

秘書課 設定者 秘書課長 村 上 武 史

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市長・副市長が円滑に政策判断・市政運営を行うことができるよう各種環境を整える。	スケジュールの管理(過密化の軽減)及び情報共有	優先度及び重要度を踏まえたスケジュールの調整により、重要案件にかかる協議時間を確保する。	市長・副市長の意向を随時確認し、関係部署との調整や政策判断に必要とする情報の収集・把握に努める。	状況に応じたスケジュール調整により、関係部署等との協議時間を確保するとともに、事前・事後の情報の収集・把握・提供に努めた。また、健康管理にも配慮したスケジュール設定により、公務の円滑な遂行につなげることができた。

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

広報戦略課 設定者 広報戦略課長 宮 井 ま ゆ み

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
シティプロモーションの取組を戦略的に推進する。	・本市の魅力を市内及び本市周辺の子育て世代にPRする事業	・認知度や魅力度を向上させ、交流人口及び移住・定住人口の増加を図る。	・SNSやテレビなどの媒体を活用し、本市の魅力を効果的に発信する。 ・プロモーションツールの作成 ・移住・定住の促進を図る事業の支援	・SNSによる情報発信は、インスタグラム・フェイスブックともにフォロワー数が増加した。 ・360度VR動画「夏編」「秋編」の日本語版とともに、英語版を作成し、公開した。 ・株式会社街づくり岩国と、関係人口の増加のために、体験交流メニューの掘り起こしを行った。
市のホームページの年間アクセス数を増加させる。	・市ホームページ充実事業	・市ホームページ全体の年間アクセス件数を400万件以上にする。	・市ホームページのトップページを中心に内容を充実させる。	市民に必要な情報をホームページに掲載することで、令和3年3月～令和4年2月のアクセス数は10,040,383件となった。

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

職員課 設定者 職員課長 藤 本 忠 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民と時代のニーズに則した組織づくり	各部署の組織の在り方、課題などを確認し、効率的な組織を改編する。	各部署における業務に見合った人員と適任者を配置する。	①組織改編についての洗い出し ②関係部署との検討、協議 ③市民、議会の合意形成 ④関連する規定の整備	コロナ禍における各種業務を着実に実施するため、組織を越えた協力体制を図り、コロナ対策に集中的な取り組みを行った。
人材育成の推進により、職員のモチベーションを高める。	「岩国市人材育成基本方針」に則り、めざす職員像の実現のための人材育成、組織の活性化、働き方改革の推進を図る。	・「職員研修計画」を着実に実行する。 ・人事評価制度における公平な評価と、上司と部下のコミュニケーションの推進を図る。 ・面談を通じて、職場内の連携を強め、業務改善、時間外勤務の縮減、休暇の取得につなげる。 ・優秀な職員の採用	①計画した研修の実施 ②研修を業務に生かす取組(事前、事後アンケート)等の強化 ③コロナ禍における効率的な研修の研究 ④研修等を通じて人事評価制度の理解度を高める。 ⑤時間外勤務に関する注意事項の徹底 ⑥職員採用に関する取組(情報発信、インターンシップ受け入れ等)の強化	職員研修の完全実施は出来なかったが、ICTIによる研修、システム管理での働き方改革の推進を図った。また、優秀な人材確保に繋がる取り組みについても、大学等と綿密に連携して取り組みを行った。
職員からの強い信頼を得て、職員課としての指導力・説得力を高める。	・給与等に関する規定の整備、職員への周知・指導、正確な支払い ・勤務時間、服務に関する制度の研究、規定整備、職員への周知	・国の動向等を迅速に把握する。 ・各課庶務事務担当者等への的確な指導・助言により、スムーズな業務遂行を図る。 ・給与関係の適正な支払 ・休暇等の的確な取得	①国・県通知を的確に読み取る。 ②各課からの問合せに的確に対応する。 ③職員間の連携を密にして、適正・正確に事務を執行する。 ④業務の習熟度を高める。	コロナ禍による過去に例をみない社会環境において、確実な情報収集、的確な状況判断を行いながら職員への指導を行った。

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

人権課 設定者 人権課長 岸 井 清 市

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
人権啓発の新たな取組	・LGBTへの理解促進 ・コロナ禍における人権侵害を防ぐためのシトラスリボン運動の周知	・市職員、教職員の全員がLGBTに対する知識を得て、LGBTについて理解し適切な事務を行う。 ・市民にシトラスリボン運動について周知を行い運動に取り組んでもらうことで、人権意識の高揚を促しコロナ禍での人権侵害を防ぐ。	・LGBTへの対応ガイドライン作成 ・申請書等への性別記載欄の見直し ・パートナーシップ制度の調査研究 ・市役所啓発コーナー、担当部署でのバッチ、チラシの配布 ・人権活動団体等へのバッチ、チラシの配布	・市職員向けのガイドラインを作成し配布 ・市職員向けLGBTに関する研修を実施 ・市民向けLGBTに関する研修（じんけんフェスタ）を実施 ・近隣の市のパートナーシップ制度の情報を収集し整理 ・バッチを窓口、人権啓発コーナーで配布。市内の高校、大学、専門学校、婦人会等を訪問して運動への参加を依頼
人権啓発事業の参加者の拡大	若年層への周知 参加者の増員への対策	参加が少ない若年層への取組を行う。 広報等により参加者全体の増員に取り組む。	・学校を通じて参加が少ない青年層への周知等を行う。 ・行事開催について早期に広報を行い、参加者増に取り組む。	・じんけんフェスタの高校生作品応募人数が196人から658人に増加。 ・コロナ禍のため、参加人数は抑制、参加者の満足度は75%から85%に上昇
岩国市男女共同参画基本計画の推進	ワーク・ライフ・バランスの推進	岩国市内における「やまぐち男女共同参画推進事業者」登録数を現在の105社から110社にする。	・事業所に対して、ワークライフバランスに関する施策を導入してもらうためのアドバイザーの派遣 ・女性活躍推進セミナーの実施	・オンラインでの講座を実施した3社の事業者が登録の予定。110社を達成する見込み。 ・セミナーは状況に合わせてオンラインでの講座に変更して実施。
	男女間のあらゆる暴力の根絶	DVに関する相談件数を増やすための啓発活動を行う。	・市内医療機関へのリーフレットの配付 ・「女性に対する暴力をなくす運動」時の岩国駅ライトアップ ・「デートDV講座」の実施	・岩国駅ライトアップの実施を1日から14日間に延長 ・講座についても継続して実施
	審議会等の女性委員の登用促進	審議会等の女性委員の登用率を、第3次男女共同参画基本計画の目標値40%に近づける。	・「審議会等への女性委員登用に係る取組方針」を策定し、全庁的に取り組むための体制づくりを行う。	・方針を策定し全部署に周知した。今年度に委員の改選を予定している部署の所属長と協議を行い、女性委員の登用について要請を行った。

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

用地管財課 設定者 用地管財 課長 山 根 正 美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市有財産の未利用等を把握し、利活用や処分に努め、適正な財産管理を行う。	・市有財産の未利用等を把握し、利活用に努め、売却可能な場合は処分を行い、財産収入を得る。	・公有財産管理システムの運用等により、市有財産を有効活用している。	①公有財産管理システムによる市有財産の管理・集計を実施(通年) ②市有財産の利活用や処分について財産所管課と連携し、情報の共有を実施(通年) ③売却可能な財産は処分を行い、財産収入を得る。(通年)	①公有財産管理システムを用いて、市有地所管課の照会に対応することや財産の使用・貸付の確認を行い、必要時に情報を集計することができた。 ②これまでの取組に加え、全庁に照会し、未利用財産の売却等に向けた情報共有・連携を行った。 ③用地管財課において普通財産土地を2件・法定外公共物2件を売却するとともに、他課による普通財産土地3件・法定外公共物5件の売却について連携し処分を行うことができた。
事業担当課と連携し、市民のニーズに適切に応えることで用地の取得を円滑に行う。	・担当者の知識蓄積とスキル向上(自己学習・職場研修・職場外研修の実施) ・事業計画の事業担当課との連携・情報共有	・関係する権利者に対し、法令を遵守し、市民のニーズを適切に捉え不安を解消するよう丁寧な説明を行う。 ・事業担当課との効率的な役割分担のもとスムーズに用地を取得する。 ・不動産評価委員会で適正な価格の評価を行う。	①国土交通省、山口県、民間が開催する研修会への参加(随時)や説明資料の作成 ②事業担当課ヒアリングを実施(5月) ③不動産の取得、処分、交換等について適正な価格の評価を行うため不動産評価委員会を開催(毎月)	不動産評価委員会において用地取得に係る22議案を提案し、価格の承認を受けた。 各事業担当課から依頼を受けた31件の用地取得を行った。
市内全域の地図(地籍図)情報を電子化し、一元管理し、地籍調査成果品等の情報を市民並びに庁内の関係各課へ提供する。	・地籍図を電算化し、地図情報システムによる土地情報の利活用の推進	・地籍調査が完了した地区の地図データについて、本庁地図情報システムへ集約化している。	①地籍調査実施中の錦町について、調査完了地区の地図データを本庁地図情報システムへ取り込む。(3月) ②登記情報と地図情報システムのアンマッチデータを訂正し、整備する。(通年)	地籍調査実施中の錦町について、新たに調査が完了し、国において認証された地区(約700筆)の地籍図データを本庁地図情報システムへデータ統合を行った。また、錦町、周東町、玖珂町管内(約190,000筆)の地籍調査成果品と地図情報システムデータとの照合を行い、アンマッチのあった精度区分を修正し、測量方法(図解法・数値法)の入力を行った。

令和3年度 契約監理課の組織目標及び組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

契約監理課 設定者 契約監理課長 米 原 正 和

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
適正な入札・契約事務の執行	公平・公正な入札制度	入札参加への増並びに社会資本の維持管理	各関係機関及び庁内機関との密な連携	市内業者への積極的な発注及び関係機関との密な連携を図る。

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石 橋 誠

市民ニーズを踏まえ、市民に信頼される行政サービスにつながる情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

情報統計課 設定者 情報統計課長 西 本 博 之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
個人情報の保護を大前提に、 基幹統計に係る事務・手続を正 確に行う。	経済センサス活動調査実施	調査期限内に調査票を回収し、 正確に調査票が記入されてい ることを迅速に調査した上で集 計を行い、提出期限内に総務 省・経済産業省に提出する。調 査手順の見直しにより、回収率 向上を目指す。	安全面に最大限の注意を払い ながら、調査員・指導員に指導 を徹底するとともに、対象者か らの問合せに適切・迅速に対応 できるよう、調査内容を正確に 把握する。新たに調査実施前 にはがきを送付することによ り、調査が円滑に実施できるよ う調査環境の充実を図る。	調査実施前の案内はがき送付 により調査を円滑に行い、ま た、調査票誤配付がないよう個 人情報保護に努め、調査員へ の指導徹底により、調査環境の 更なる充実を図った。 これにより、回収した調査票 は、提出期限内に提出し、ま た、ネット回答率は全国平均 28.9%に対し岩国市39.6%と10 ポイントを上回る回答率であっ た。
経常的なコスト削減をはじめ、 職員に負担のかからない効率 的で実用的なシステムを構築 する。	ガバメントクラウド導入に向けた 検討	実用的なシステムが提供され ることにより、職員の負担が軽減 されるとともにコストが削減され る。	令和3年4月に新たに設置され たデジタル推進部署と連携し、 国のガバメントクラウドの導入 に向けた検討をする。	2021年11月に岩国市デジタル 化推進会議をたちあげ、情報シ ステムの標準化・共通化をはじ めとしたデジタル推進に向けて 体制を整えた。2022年度も引き 続き、ガバメントクラウド導入に 向けて具体的な取組を進めて いく。

総務部(危機管理担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 危機管理監 榎 原 裕 司

「逃げ遅れゼロ」の実現に向けた取組を推進します。

危機管理課 設定者 危機管理課長 志 賀 浩 明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
事前に予見できる災害については、発生前に早めの避難を促す。	災害発生の予測	気象情報を収集し、より簡便な方法で災害発生を予測することにより、避難情報を迅速に発令する。	地域の地質や植生等を調査することにより、雨量指標R'の精度向上と運用面の改善を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により、地質や植生等の調査ができず、雨量指標R'の更なる精度向上を図ることはできなかったが、現行の雨量指標R'により、避難情報の迅速な発令に努めた。
災害の種別ごとに発生前、発生直後、発生後の局面に応じた対応を行う。	災害対応力の向上	災害対策本部と総合支所、避難所、消防・警察・県土木事務所などの関係機関と情報共有を行い、組織的に災害対応が行える体制を構築する。	市と消防団や消防、自主防災組織とが連携して、洪水や土砂災害を想定した訓練を実施する。 地震・津波に対する行動計画の策定に向けて、対応策を整理・検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、洪水や土砂災害を想定した訓練を実施することはできなかった。 実際の災害対応においては、関係機関との情報共有を図った。
	自主防災組織の育成・強化	自主防災組織や消防団による避難支援が行われ、住民が助け合って避難する。	自主防災組織向けの説明会を行うなど、市の避難情報発令基準や防災情報の取得方法等の防災に関する市の考え方を広く住民へ周知する。	令和3年11月に自主防災組織向けに「地域防災リーダー養成研修」を開催し、市の防災に対する考え方を説明した。
大災害発生後における中長期避難所を安定的に運営する。	避難所の運営体制の検討	避難生活を送るための生活環境が整備されている。	運営に当たっての全体的な課題を整理し、自主防災組織による運営について検討するとともに、必要となる非常食や資機材等を引き続き整備する。	自主防災組織に避難所運営に関するアンケート調査を実施するとともに、避難所において使用するアルミマット等の資機材を整備した。

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國 廣 光 秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

政策企画課 設定者 政策企画課長 賀 屋 和 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
総合計画の将来像の実現に向け、効果的な施策を計画的に推進する。	本市のまちづくりの指針となる「第3次総合計画」を令和4年度末までに策定する。	本市の現状や課題を整理し、目指すべき将来像を示して、目標を実現するために必要な施策を明確にする。	第2次総合計画の評価・検証を行うとともに、市民意向調査等の結果を分析して市民の意向を把握する。 これらの結果を踏まえ、課題の抽出・整理を行い、将来像や基本理念、施策目標等を定めた基本構想の素案を令和3年度末までに作成する。	第2次総合計画の評価・検証を行うとともに、市民意向調査等の分析結果を基に、課題の抽出・整理を行った。 これらの結果を踏まえ、将来像や基本理念、施策目標等を定めた基本構想の素案を作成した。
	明確な基準に基づいた「まちづくり実施計画」を策定する。	総合計画や総合戦略における目標の達成に資する取組を重点的に反映させるとともに、重要度、緊急度、事業効果等を勘案し、投資一般財源の範囲内で優先順位の高い投資政策的事業を採択する。	総合計画や総合戦略における位置付け及び事業の優先度・緊急度を明確にし、財政フレームの投資一般財源の範囲内で事業を選択する。	投資一般財源の厳格な管理のもと、重要度、緊急度、事業効果等を勘案し、優先順位の高い投資政策的事業を採択した「まちづくり実施計画」を策定し、令和4年2月に公表した。
総合計画及び総合戦略に掲げる目標を達成するため、厳格な進行管理を行う。	総合計画や総合戦略における各種取組に対する進捗を検証し、その状況を公表する。	総合計画における「達成度を測る指標」や総合戦略における「数値目標」「KPI」等の前年度の達成状況を照会し、取組の進捗を検証するとともに、市民にその状況をわかりやすく公表する。	指標・数値目標・KPIの実績や進行状況等を取りまとめ、検討会等に諮って内容を検証する。検証結果を各課にフィードバックするとともに、HP等で進捗を公表する。	総合計画後期基本計画の中間年度にあたる令和2年度の達成度を測る指標等を検証し、公表した。 第2次総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の実績値と、具体的な取組の進捗状況について公表した。

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國 廣 光 秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

政策企画課 設定者 政策企画課長 賀 屋 和 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
大規模事業等について、県や国による事業化を実現することで、まちづくりを進める。	各課の要望を取りまとめ、山口県予算及び自民党要望を行う。	市では実施が困難な大規模事業等について、適切な要望活動を行い、県予算や国家予算での採択を目指す。	各課からの要望を取りまとめて要望書を作成し、県等に要望活動を行う。 要望に対する県等の対応方針を確認し、各課に情報提供する。	各課からの要望を取りまとめ、庁内調整を図ったうえで、重点要望項目等を整理し、県予算及び自民党要望を行った。
圏域全体の一体的な発展を図るため、広域行政を推進する。	広島広域都市圏で行う取組を積極的に活用する。	圏域西部地域の中核的な役割を果たすことで、広島広域都市圏全体の発展と本市の活性化を目指す。	庁内関係課や庁外関係団体に対し、イベント等の事業を周知するとともに、事業実施に向け、調整・連携を図る。	広島広域都市圏での取組について、庁内外に周知するとともに、関係各課において、連携中枢都市圏制度を活用した事業に取り組んだ。

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國 廣 光 秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

行政経営改革課 設定者 行政経営改革課長 宮 井 克 典

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
行政経営改革プランの行動計画をPDCAサイクルに基づき計画的に実施する。	行政経営改革プランの行動計画における年度計画を着実に実行する。	・令和2年度の達成状況の把握、成果の検証において、的確な評価ができ、令和3年度の行動計画への改善ができています。	・行動計画の取組に係る担当部署への働きかけ、援助、進捗管理を行う。 ・民間委託業務の研究を行い、庁内での検討を進める。 ・市民満足度調査結果の施策への反映を促す。	・行動計画の取組に係る担当部署への進捗管理を行い、適宜働きかけ等を行った。 ・民間委託業務については、事業者からの情報収集等を行い、また、福祉窓口業務については、状況把握を行った。 ・市民満足度調査結果については、部長級に働きかけるとともに、庁内電子掲示板により情報の共有を図った。
公共施設の質と量の最適化に向け、計画的に取り組む。	公共施設の質と量の最適化を目指し、計画性を持って着実に実行する。	・人口減少に伴う施設の利用実態に応じ、施設の量が最適である。 ・多様化する市民ニーズの把握・分析や計画的保全・健全な管理運営の実施により、施設の質が最適である。	・施設の老朽化、必要性、有効性、効率性などの観点から、個別施設を総合評価し、建替え、譲渡、廃止など、今後の方向性を検討するため、個別施設実施計画を策定する。 ・建築基準法による法定点検を実施する。 ・施設管理者による日常点検等の実施により施設の安全確保に取り組む。	・コロナ禍の影響により個別施設実施計画素案の策定は一部にとどまった。また、やむを得ず計画の策定を令和4年度末に先延ばしにした。 ・建築基準法による法定点検については、業務委託化等を図りながら適切な実施に努めた。 ・施設管理者による日常点検等については、令和元年度策定の手引に沿って、適切な実施を図った。
行政サービスや事務事業のデジタル化に取り組む。	行政サービスや事務事業のデジタル化を計画性を持って取り組む。	・複雑、多様化する市民ニーズに的確かつ迅速に対応し、質の高い行政サービスを効果的、効率的に提供するため、デジタルトランスフォーメーション(DX)によるICTの積極的な活用が図られている。	・RPAなど事務処理のデジタル化を推進し、職員の時間、労力、費用などを削減するための支援を行う。 ・電子申請やキャッシュレス決済など市民手続きのデジタル化等を推進するための支援を行う。	・RPAなどの事務処理のデジタル化の推進のため、該当課等への支援を行い一定の成果を得ることができた。 ・電子申請等の市民手続きのデジタル化の推進に向け、該当課等への意向調査や導入に向けた支援を行い一定の成果を得ることができた。

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國 廣 光 秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

地域交通課 設定者 地域交通課長 中 田 誠

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
高齢者と人口減少に対応できる持続可能なサービス体系の再構築	地域内支線の見直し	地域の状況にあった移動手段へ見直しを図る。	路線バスの廃止代替となりうる乗合タクシーの実証運行を2地域で行い、本格運行に向けた検討をする。	南河内・北河内の2地域で乗合タクシーの実証運行を実施した。 今後も、効果的、効率的で持続可能な新たな移動手段の実証運行を実施する。
誰もが安心して利用できる環境の整備	バリアフリー化の推進	「移動円滑化の促進に関する基本方針」に示された目標に合わせ整備される駅のバリアフリー化事業に対し補助を行う。	JR西日本が実施する南岩国駅のバリアフリー化事業に対し補助を行う。	新型コロナウイルス感染症や西日本豪雨の影響により遅れていた南岩国駅のバリアフリー化が完成し、誰もが安心して利用できる施設となった。
公共交通を守り育てる意識の醸成	モビリティ・マネジメントの実施	ターゲットを絞りモビリティ・マネジメントを実施する。	公共交通を使うことが想定できる高齢者や児童・生徒及び転入者に対しモビリティ・マネジメントを実施する。	中学・高校生へは継続的にパンフレットを配布した。小学生へはバスの乗り方教室を実施し、転入者向けパンフレットの配布を開始した。 今後は、高齢者向けの利用促進にも取組むこととする。

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國 廣 光 秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

財政課 設定者 財政課長 桂 健 治

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
持続可能な行政経営を行うため、一般財源の状況を把握した上で、その確保に努める。	一般財源の状況を把握し、投資政策的経費に適切に一般財源を配分する。	投資政策的経費に配分する一般財源を確保しながら、持続可能な行政経営が行えている。	見直しを行った財政計画を踏まえ、今後の一般財源の見通しを把握する。 今後の一般財源の状況を勘案しながら、投資政策的経費に一般財源を配分する。	令和2年11月に岩国市財政計画の見直しを行い、今後の一般財源の見通しを把握した。 令和4年度当初予算における投資政策的経費の一般財源は、同計画の目標値に近づけた。
市債については、将来負担の軽減を図るため、発行の抑制に努めるとともに、発行する場合には、財政的に有利な普通交付税算入率の高いものの活用を努める。	市債を発行する場合は、普通交付税算入率の高いものを活用する。	市債を発行する場合には、普通交付税算入率の高いものの活用を努めることにより、一般財源の負担を軽減することで、将来に向けて一般財源を確保する。	予算編成時に、財政的に有利な市債が活用できないか十分に検討し、活用可能なものについては、市債を充当する。	令和3年度の補正予算や令和4年度当初予算において、普通交付税への算入率が高い合併特例債や過疎債などに加え、緊急防災・減債事業債や緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債など、財政的に有利な市債の活用を図った。

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國 廣 光 秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

課税課 設定者 課税課長 松 井 美 穂

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
課税客体の適正な把握に努め課税漏れ、課税誤りのない状態を目指す。	・相互チェック体制の確立 ・研修会等への積極的な参加	・経験年数にかかわらず適正な課税が遂行できる。 ・課税誤りをなくす。	外部研修会参加への積極的な勧奨 個々の業務だけでなくスケジュールを含めた業務の全体像が俯瞰できるような指導体制を目指す。	・新型コロナウイルスの影響により中止されたものもあったがWEB会議など参加できるものについては積極的に参加できた。 ・課内会議および班会議を実施時にスケジュールを確認し、問題を共有することができた。 ・課税誤りをなくすには至っていない。
経験年数にかかわらず納税者に対してわかりやすく賦課内容を説明することができる。	・業務マニュアルの充実及びアップデートの実施 ・班内研修、ミーティングの実施 ・困難な案件の情報共有	・個々の班員の知識等のレベルアップができています。 ・問合せに対して迅速で適正な回答が可能になる。	過去のノウハウを活かし、マニュアルのアップデートを随時実施する。 事案ごとに班内研修の内容や参考資料等をリスト化し、課内での情報共有を図る。	・各マニュアルについては、適宜更新されている。 ・班内会議についてはすべての部署で定期的に行うまでには至っていないが、随時実施し、情報共有を図っている。さらに班をまたいで連携が必要な案件については供覧し、必要時には協議をしている。

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國 廣 光 秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

収税課 設定者 収税課長 山 田 博 之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安定的な財源の確保	市税収納率の向上	現年度市税収納率 概ね99%程度 滞納繰越市税収納率 概ね30%程度	納税者の現状を踏まえた納税相談を通じ、現年度分の納期内納付を勧めるとともに、適宜適切な滞納整理を行う。	令和4年1月現在(前年同月比) ○現年度課税分 2.35%増 ○滞納繰越分 23.79%増 ※滞納繰越分は徴収猶予分の納付を含む。
未収金対策の強化	現年度市税未収金の削減	現年度分市税の収納率の向上	新たな滞納を生じさせないため、現年度分の年度内納付への取組強化を図るとともに、口座振替の新規加入を推進し、新たな納付方法の導入について検討する。	○当初納通へ口座振替勧奨のチラシを同封 ○6月よりPayPay、LinePayでの納付を開始 ○eLTaxを活用した対象税目の拡大を検討
徴収の公平性の確保	職員のスキル向上	納税者の現状を適切に把握し、納税意欲の向上に向けた丁寧な説明、対応を行うとともに、適切な滞納整理による公平性の確保を図る。	各種研修の受講による個人の収納技術、折衝能力の向上、関係機関との連携による組織的な収納体制の強化を行う。	○研修 ・県内研修10件、のべ12名出席 ・県外研修1件、1名出席 ○関係機関との連携 ・県職員による講習3件 ・県職員による併任徴収

総合政策部(基地政策担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 基地政策担当部長 山 中 法 光

岩国基地との共存を基本スタンスとして、安心・安全対策に取り組みます。

基地政策課 設定者 基地政策課長 穴 水 辰 雄

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心・安全対策(43項目)の推進	安心・安全対策のうち(43項目)の要望のうち、未達成項目の進展	未達成の項目の実現あるいは、国との協議が進んでいる。	(未達成の主なもの) ①住宅防音工事の見直し(事務所・店舗等への補助対象施設の拡大) ②日米地位協定の見直し ③基地外居住者の居所の明確化	①事務所・店舗への補助対象施設の拡大について、国において制度設計に向けて、事務所・店舗等の数や事業の形態などを把握するための実態調査を令和3年度に実施
航空機の騒音軽減や事故防止	①岩国基地への申し入れ ・飛行規則の遵守や飛行運用の配慮に関する要請 ・事件・事故等に係る要請 ②航空機騒音の測定・集計・分析と空母艦載機移駐後の実態把握 ③米軍の騒音規制措置(「確認事項」の見直し)に関する協議を継続する。	①-1飛行規則が遵守され、飛行運用において、市民生活への一定の配慮がなされている。 ①-2事件・事故が発生していない。 ②-1測定データが騒音対策に有効に活用されている。 ②-2騒音の状況が市民へ適切に情報提供されている。 ②-3空母艦載機移駐後の実態把握が適切にできている。 ③米軍の騒音規制措置(「確認事項の見直し」)が日米双方の合意のもと、まとまる。	①-1飛行規則の違反や市民からの騒音苦情が多かった場合、岩国基地へ申し入れ ②-1市が設置する騒音測定器による計測(市内5ヶ所・24時間体制) ②-1基地情報提供協力員と基地政策嘱託員の情報整理・分析 ②-2騒音状況は適切に情報提供を行う。 ③国・米軍と米軍の騒音規制措置(「確認事項」の見直し)について継続して協議する。	①騒音・市街地上空飛行に関する苦情件数は4,010件(昨年度比446件の増加)、基地に対する申し入れを10回実施 ②騒音測定等、適切に実施しており、各測定器の集計データはホームページに掲載 ③「確認事項の見直し」については、コロナの影響もあり、協議は中断
米軍構成員等による事件・事故の減少	事件・事故に係る要請	事件・事故が発生していない。	・セーフティ・ブリーフィング(米軍隊員教育の場)への参加 ・安心・安全共同パトロールの実施及び状況に即した事業の見直し	新型コロナの感染防止対策のため、昨年度と同様にセーフティ・ブリーフィングについては、市長のメッセージビデオを使いリモートで実施。安心・安全パトロールは中止
再編交付金終了後の財政措置	再編交付金終了後の財政措置について要請	再編交付金終了後の財政措置について、国と協議が進んでいる。	実施を必要とする事業について、国と協議する。	再編交付金終了後の財政措置について、令和4年度から新たな交付金制度が講じられた。

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小 玉 陽 造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

市民協働推進課 設定者 市民協働推進課長 岡 田 司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民一人ひとりが地域社会の一員であることを自覚し、住み良い岩国市(まち)にしていくための協働のまちづくりを推進する。	・地域コミュニティの強化 ・多様な主体との連携・協働の推進	・市民の自治及び協働の意識醸成と促進 ・市民活動の場づくりの支援 ・市民活動の拡充・リーダー等の人材育成及び活用	・自治会報償金、コミュニティ助成事業、地域資源活性化事業(地域づくりワークショップ等)の実施 ・地域ささえ愛交付金の活用促進 ・市民対象協働講演会や協働推進員対象研修会の開催 ・地域協働拠点としての出張所・供用会館等のあり方や方向性等(公共施設等総合管理計画や学校施設長寿命化計画との関連)の検討 ・川下供用会館駐車場整備事業 ・みんなの夢をはぐくむ交付金の活用促進 ・市民活動団体、市民活動パートナー制度の登録推進 ・市民活動人材育成事業補助金の活用促進 ・市民活動支援センターの機能充実	・自治会加入率:71.82% 地域づくりワークショップ(相談会:7地区、勉強会:17地区) ・コミュニティ助成事業:2事業 ・地域資源活性化事業(8地域):80事業 ・地域ささえ愛交付金(8地域協議会):65事業 ・市民対象協働講演会、研修会(3回開催):参加者延べ39人 ・協働推進員対象研修会:参加者延べ21人 ・地域協働拠点としての出張所、供用会館等の在り方や方向性等を検討 ・川下供用会館駐車場整備事業:用地買収 ・みんなの夢をはぐくむ交付金:12事業 ・市民活動登録団体:100団体 ・市民活動パートナー制度:登録13件、募集14団体 ・市民活動人材育成事業補助金:4事業 ・市民活動支援センターの機能充実 市民活動支援センター利用者数:延べ2,649人 さぼーと講座(10回)延べ132人 出前講座(1回)45人 登録団体交流会(2回)延べ47団体 市民活動カフェ(※新型コロナウイルスで中止) パネル展:市内2か所
市民に信頼される親しみやすい出張所を目指す。	迅速・丁寧・親切的窓口サービスを提供する。	・身近で親しみやすい出張所となるよう接遇の向上に努める。 ・ミスなく円滑に事務処理ができるよう業務の改善を図る。	・定期的な所内職員ミーティングの実施 ・問題が発生した場合、情報・課題を出張所内及び各出張所間で共有する ・本庁関係課との連携を密にする。	・市民に最も身近な行政サービスを提供する窓口として、親切かつ丁寧な接遇に努めた。 ・各出張所間における情報共有や本庁関係課との連携を図るため、毎月所長会議を開催するなど、窓口サービスの維持・向上に努めた。 出張所取扱件数:70,367件

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小 玉 陽 造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

くらし安心安全課 設定者 くらし安心安全課長 綿 重 典 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
犯罪や事故等の防止に向けて、防犯灯の整備や防犯カメラの効果的な運用を行うとともに、地域が一体となった防犯活動を推進する。	・防犯灯設置費補助事業 ・防犯灯電気料金助成金事業 ・基地周辺防犯灯整備事業	犯罪や事故等の抑制のため、警察と連携して防犯カメラの効果的な運用を行うとともに、防犯灯の設置及びLED化の促進を図る。 ・防犯灯LED化率 94%	・自治会等が設置する防犯灯に対して、設置工事費及び器具代の一部を補助する。 ・自治会等が設置した防犯灯の電気料金を全額助成する。 ・基地周辺における防犯灯のLED化を図るため実施設計を行う。	防犯灯設置補助や電気料金助成により防犯灯の設置促進やLED化が促進され、LED化率は94%となり、目標を達成した。基地周辺における防犯灯のLED灯へ改修を行うための実施設計を完了した。
関係機関・関係団体と連携して、交通安全指導や効果的な啓発活動を行い、交通事故防止に向けた取り組みを促進する。	・第11次交通安全計画の策定 ・交通安全運動等の啓発活動 ・交通安全教室の開催	岩国市の交通安全対策を総合的、計画的に推進するために、第11次交通安全計画を策定するとともに、交通安全教育及び普及啓発活動の充実させ、交通事故の防止を図る。 ・交通事故数、死亡者数の減少	・関係機関、関係団体と連携して、交通安全指導や啓発活動を実施 ・子供・高齢者を対象にした交通安全教室の開催 ・米軍関係者を対象とした講習会の開催 ・計画策定会議を開催するとともにパブリックコメントを実施し第11次交通安全計画を策定	第11次交通安全計画を策定し、交通安全対策を総合的・計画的に推進できる体制とし、交通安全教育及び啓発活動を関係機関・団体と連携して、様々な媒体により効果的に進めた。交通事故数は4件減、死亡者数は2名増となった。
消費者力を向上させ、消費者被害に遭わないよう啓発活動や相談体制を充実させ、消費者の安心・安全を確保する。	・関係機関・団体と連携しての啓発活動や様々な媒体を通して情報発信 ・消費生活相談事業 ・消費者被害防止に向けて消費者見守りネットワーク協議会の開催及び構成組織との連携	消費者力の向上や被害防止に向けて啓発活動や情報発信を行うとともに、相談体制の充実や地域での高齢者・障害者の見守りネットワークの強化を図る。法改正により契約年齢が18歳以上となるため、若年層への啓発を拡充する。 ・消費生活相談件数の増加 ・消費者見守りネットワーク協議会の構成組織の増加	・啓発チラシの作成や ケーブルテレビCM及び路線バスへのポスター掲示等により広く周知するとともに、市報、市民アプリ、LINE等、様々な媒体を通して情報発信を行う。 ・商業施設、金融機関等での啓発活動 ・消費生活川柳の募集(小中学生対象) ・消費者見守りネットワーク会議の開催	市内の高校への出前講座やブックレットの配布等により若年層への啓発を拡充することができた。また、見守りネットワーク協議会の構成組織は1組織増やすことができたが、相談件数は減少した。

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小 玉 陽 造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

暮らし安心安全課 設定者 暮らし安心安全課長 綿 重 典 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心感を持って相談することができ、市民の意見や提言を関係部署に届け迅速に対応することにより、市政への理解を深める。	・市政相談等各種相談事業 ・自治会、団体等からの陳情、要望業務 ・パブリックコメントの実施	市民の地域生活の問題等についての相談や要望について、迅速に対応することにより、市民の市政への理解を深めるとともに不安感の解消を図る。またパブリックコメントの実施により、市民の市政への積極的で幅広い参加機会を確保する。 ・市政相談件数の増加	・電話、来庁、郵便、市長ホットラインにより相談、要望を受け、助言や情報提供を行うとともに、必要に応じて関係部署と連絡調整を行い対応する。問題解決に向けて、適切な対応を行うために、庁内情報共有や調整会議を開催する。	市民からの相談等を傾聴し、情報提供や関係部署への迅速な引継ぎを行い、パブリックコメントの実施により、市民の市政への参加機会を確保した。新型コロナウイルス相談案内窓口の設置により、全体の相談件数は増となったが、市政相談件数は減少した。

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小 玉 陽 造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

中山間地域振興課 設定者 中山間地域振興課長 的 場 敏

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民活動の促進を図り、住民主体の地域づくりへの支援を行う。	小規模・高齢化集落等への対策の推進	①集落支援員等により過疎や離島等の小規模・高齢化集落の実態把握を進める。 ②地域での話し合い活動や当該地域への対策を進めるための基礎情報の集約・整理を行う。 ③以上の取り組みを市民協働で推進する。	・集落の状況を各種の資料等により把握し、地域情報の整理を行う。 ・地域住民からの聞き取り調査による地域の実態把握を行う。 ・関係機関からの情報収集による地域課題の把握を行う。	本事業にて、新たに錦地区に集落支援員を配置することができた。また、新たな地区の取り組みとして、通津地区に相談に入った。このように新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、新規の取り組みを進め、地域の実態調査に努めた。その他の地域においては、継続して実践活動を支援している。
	地域おこし協力隊員の定住・定着を図り、地域力の維持・強化に資する。	①隊員と地域住民との交流が進み相互理解が図られる。 ②隊員の地域資源の発掘で地域の魅力の再発見・再認識が図られる。 ③隊員の起業・定住に向けた取組が図られる。 ④以上の取組を市民協働で推進する。	・隊員の活動の紹介、周知を行う。 ・地域住民・団体等との交流機会を設ける。 ・地域資源の活用による地域づくりに向けた取組を進める。 ・地域のニーズに応じ、隊員を募集し拡充する。	地域おこし協力隊については、新たに4地域での採用となった。また、来年度4月採用の隊員も確定している。また、隊員と地域が良好な関係で活動できるようにフォローを行った。現在は、隊員が地域の心の支えとなる人材となっている。市内において、隊員を求める声が大きくなっている。
	過疎地域持続的発展計画の策定	①過疎地域持続的発展計画を策定し、過疎地域で実施する事業に、過疎債が活用できるようにする。 ②過疎地域の活性化に努める。	・関連部署から事業調査を行う。 ・計画策定 ・パブリックコメントを実施 ・県協議 ・市議会に上程	過疎地域持続的発展計画を策定し、9月議会にて可決された。また、12月議会にて、新法に基づく過疎地域の固定資産税の課税免除に関する条例が可決された。

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小 玉 陽 造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

中山間地域振興課 設定者 中山間地域振興課長 的 場 敏

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
田舎暮らしによる移住・定住の促進を進める。	空き家情報登録制度による空き家の有効活用	①移住希望者に空き家情報を通して地域の魅力を提供する。また、移住希望者の情報を収集し、IJU(移住)応援団・空き家所有者との円滑なマッチングを図る。 ②空き家登録の増加を図る。 ③以上の取り組みを市民協働で推進する。	・IJU(移住)応援団に対して、空き家登録状況を説明する(6月・1月)。 ・空き家の情報提供と調査を継続して進め、空き家の掘り起こしに務める(随時)。 ・登録された空き家の情報をホームページで公開する(随時)。	空き家による移住成約件数は、昨年を下回った。これは、安価な物件に偏った事と、まん延防止等の時期に、活動を停止したことが要因と考えられる。また、移住の相談件数においても、昨年同様に、増加傾向にある。一方、移住応援団の空き家掘り起こしも積極的に行っている。IJU応援団の交流会を開催した。今後、IJU応援団との更なる連携が必要と考える。
	田舎暮らし魅力発信の強化	①特に、若年層へ岩国市の魅力を発信し、シビックプライドの醸成に努める。 ②首都圏を中心に岩国市のPRを強化する。	・若年層向けPR冊子を作成し配布する。 ・PR冊子の内容をホームページに掲載し、広くPRする。 ・ふるさと回帰支援センターなどを活用し、首都圏等で移住セミナーを開催する。	若年層向けPR冊子については、目標通り、本郷・美和地区をテーマに完成をし、関係各所に配布をした。今後は5月の成人式にて配布予定である。一方、首都圏でのPRについては、ほとんどオンラインで実施した。岩国暮らしセミナーについては、ふるさと回帰支援センターの協力により開催した。コロナ禍の中で、できるだけPRができた。 田舎暮らしによる移住・定住の促進を進める。

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小 玉 陽 造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

市民課 設定者 市民課長 鳥 川 真 由 美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
個人情報に関することは、厳格に対応する。	個人情報の適正な管理と取扱い	個人情報の管理を徹底し厳格化することで、市民の安心と信頼を図る。	①証明書等発行する際、複数人で確認する。また、窓口で交付する際は、申請者に証明書の内容を確認のうえ、交付する。 ②個人情報記載されているものなどを他の職員に引き継ぐ際には、声掛けを必然とする。 ③業務終了時は、複数人で確認しながら施錠のできるロッカーやキャビネット等に収める。 ④各個人の机上の整理を徹底する。 ⑤個人情報が放置されていると思われるときは、必然的に作業中の有無を確認する。	証明書等交付する際出力者、レジを打った者、交付者の3名で申請書と発行した証明書の内容を確認し、窓口で申請者にお渡しの際にも証明書等の内容確認をお願いした上で交付しています。 また、机上の整理や業務終了時は施錠のできるロッカー等への収納を徹底しています。
住民基本台帳・戸籍の証明書等の発行や個人番号カードの交付・更新の際、スムーズな発行・交付・更新を行う。	個人番号カードの円滑な交付・更新	個人番号カードをスムーズに交付・更新することにより、市民サービスの向上と満足度の向上を図る。	①個人番号カードの交付等をスムーズに行うため、予約制の導入を検討する。 ②時間外や休日に交付窓口を開設するなど執務時間内に来庁できない市民の個人番号カードの交付・更新処理を継続して実施する。 ③個人番号カード交付申請補助を行い、申請時の負担を軽減する。	個人番号カード交付時に予約制を導入することにより、カード交付時の待機時間を短縮し、市民サービスの向上を図っています。また、個人番号カード交付申請時にオンライン申請支援を行い、申請時の負担を軽減しています。

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小 玉 陽 造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

市民課 設定者 市民課長 鳥 川 真 由 美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
住民基本台帳・戸籍の証明書等の発行や個人番号カードの交付・更新の際、スムーズな発行・交付・更新を行う。	住民基本台帳、戸籍の証明書等の円滑な発行	戸籍届出(死亡等)が提出された際、大型連休や年末年始を除き5日以内(死亡届は3日以内)で処理し、届出事項が反映された戸籍謄本等の証明書を発行することで、市民の各種手続の利便性を図る。	死亡届の処理を優先的にすることで死亡が記載された戸籍謄本等の証明書を届出受理後から3日以内で発行可能とする。	死亡届とその他の届出をファイルの色分けにより明確化することで、死亡届を優先的に確認し受付から3日以内の処理を行うことにより、市民の各種手続きの利便性を図っています。

市民生活部(文化スポーツ担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ担当部長 竹 原 直 美

職員一人ひとりが創造性を持って、時代の流れを先取りした事業に取り組みます。

文化振興課 設定者 文化振興課長 石 井 寿 浩

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
文化芸術活動に参加する人や機会を増やす。	錦帯橋芸術祭を充実させる。	本事業は岩国文化芸術振興プランの重点プロジェクトであり、多くの来場者に文化芸術に触れて、参加してもらう。なお、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながらその状況に応じたプログラム構成を行い、良質な文化芸術に触れる機会を提供する。	核である篝火は演出や見せ方を工夫しストーリー性を持たせる。アートイベントも世代を越え気軽に楽しめる内容とするが今年度は花と緑の活用を意識する。また合唱もベリースクールも含め多くの学校に参加者を募る。	今年度もコロナのため篝火だけの縮小開催となった。その中でも現代アートを取り入れ激しい灯りと淡い灯りのコントラストの競演に多くの評価を頂いた。
	岩国市美術展覧会、岩国市民文化祭を活性化させる。	市民の文化芸術活動を発表する機会であり、多くの市民のモチベーションになっている会である。新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら企画する。文化芸術活動の底上げ、新たに始める人の掘り起こしを行うため、来場者、出品、出演団体の増加を目指す。	展覧会は文化協会等への依頼を行うほか、出品数の少ない高校への依頼も強化する。また、観覧者を増やすため、発信方法の工夫を行い市民に文化芸術に触れるよう促す。市民文化祭は新型コロナウイルス感染症に大きく左右されるため、状況によっては負担となっている利用料等の面で支援を引き続き検討する。	高校からの出品も、観覧車数も前年より増加した。また発信方法は大型タペストリーを作成し新たな市美展のアイコンとして活用していきたい。市民文化祭の支援は検討を継続する。
外国人への理解を深め、外国人に選ばれ住んでもらえるまちにする。	国際交流事業を促進する。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い交流機会が制限される中、可能な範囲で多くの市民が参加できる企画を実施する。オリンピックの事前キャンプにおいても、ガイドラインに沿って市民と選手との直接の交流が叶わない場合でも心の交流を含めホストタウンとして実施する。	岩国基地の関係者、各交流団体、市民グループと協働し、市民や外国人双方が興味を持てる内容に変更し、周知にも力を入れる。事前キャンプでは選手と同年代の高校生や短大生に多く参画いただき未来につながる交流に繋げる。	タケノコ堀を新たに地域交流の郷と協働し多くの市民、基地住民が参加された。竹の葉で包んだタケノコご飯も日本文化を知る機会となり大変好評であった。オリンピック事前キャンプではオンラインでの交流が大半を占める中、高校生の書道パフォーマンスでエールを送り全国的な評価をいただいた。
外国人への理解を深め、外国人に選ばれ住んでもらえるまちにする。	外国人への生活支援を充実する。	諸外国人にとって言葉の壁は最も苦労する一つであるため、やさしい日本語の習得を目的とした日本語ボランティアと、多様化するニーズに対応可能な英語の通訳ボランティアを養成し、双方現在以上の人を確保する。また、外国人向けに本市で生活する上での地域の習慣についても随時提供する。	日本語、英語ボランティアの養成講座を開催し、人的資源の拡充を行う。また特に運営の厳しい日本語ボランティアについては団体の意見を聞き支援の方法を引き続き検討する。外国人とのトラブルや疑問等について調査して随時英訳し、まとめたものを引き続き作成する。	日本語ボランティア団体には運営費の補助を新設した。また、日本語教育支援員についても多くの方が団体に加入の相談をしており一定の成果があった。質の高い英語通訳講座も開設し国際交流ボランティアへの登録もお願したところである。

市民生活部(文化スポーツ担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化スポーツ担当部長 竹 原 直 美

職員一人ひとりが創造性を持って、時代の流れを先取りした事業に取り組めます。

スポーツ推進課 設定者 スポーツ推進課長 弘 中 勝

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、スポーツ教室やスポーツイベントを開催し、スポーツ活動への参加者を前年度よりも増加させる。	安心して参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催	新型コロナウイルス感染症対策に努め、参加者が安心して参加できるスポーツ教室やスポーツイベントを実施する。	・日本体育大学との連携事業を実施 ・フェンシング国際ジュニア大会の実施 ・ドリーム・サッカーの実施 ・日米親善リレーマラソンの実施 ・オリンピック事前合宿(女子ソフトボール・フェンシング)の実施	日本体育大学との連携事業に関しては、講師招へい事業・選手派遣事業も新型コロナ感染症の影響で実施できなかった。フェンシング国際大会やドリーム・サッカー、日米親善リレーマラソンとオリンピック事前合宿については、感染症対策に留意し、予定どおり実施できた。
2021年に延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機に、市民の生涯スポーツに対する関心を高め、スポーツ交流事業に積極的に取り組む。	スポーツ合宿の積極的誘致によるスポーツ交流事業の推進	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市民の機運醸成に努める。	・スポーツ合宿助成事業を活用した合宿の積極的な誘致 ・岩国運動公園の設備改修 ・愛宕スポーツコンプレックス備品整備 ・スポーツ指導者等の育成	スポーツ合宿助成事業においては、2チームの合宿が延べ40人市内で12泊の合宿を行った。岩国運動公園の設備改修や愛宕スポーツコンプレックスの備品整備については、予定どおり実施できたが、スポーツ指導者等の育成については、日本体育大学との連携事業が中止となったため実施できなかった。

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 藤 村 篤 士

市民・事業者と協働してごみの減量やリサイクル、地球温暖化対策や省エネルギーなど循環型社会・低炭素社会に向けた取組を推進し、地域の環境保全に努めます。

環境保全課 設定者 環境保全課長 中 原 剛

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
環境保全につながる新たな取組を毎年度実施する。	情報発信および啓発の工夫と強化	・市民が情報を受け取る機会や手段が増える。 ・市民自ら得ようとしていない情報が市民に伝わる。	・従来型の媒体(市広報紙及び市HP)による情報発信・啓発の増及び、新たな媒体での情報発信・啓発 ・「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岩国市良好な生活環境確保のための迷惑行為防止に関する条例」についての普及啓発 令和2年度実績 市広報紙 掲載2件(犬2) 市HP 更新3回(犬2、良好1) 市民メール 発信1回(犬1) 自治会回覧 1回(犬1)	新たな媒体の利用はなかったが、情報発信・啓発の実績増となった。 (「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岩国市良好な生活環境確保のための迷惑行為防止に関する条例」についての普及啓発) 令和3年度実績 合 計 12件・回(前年度比5件増) 市広報紙 掲載5件(3増、狂犬病予防3、猫1、ペット全般1) 市HP 更新5回(2増、狂犬病予防3、猫2) 市民メール 発信2回(1増、狂犬病予防1、ペット全般1) 自治会回覧 0回(1減、周知方法の変更による)

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 藤 村 篤 士

市民・事業者と協働してごみの減量やリサイクル、地球温暖化対策や省エネルギーなど循環型社会・低炭素社会に向けた取組を推進し、地域の環境保全に努めます。

環境事業課 設定者 環境事業課長 古 本 健 二 郎

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
環境教育の充実	出前講座、ごみ処理体験学習(施設見学等)	ごみの発生・排出削減、リサイクルを進めるため、市民・事業者にごみの減量や分別の意義などについて認知度の向上を図る。	出前講座等を通じて、学校や自治会に対してのPRを実施する。	令和3年度実績 出前講座18件437名 ごみ処理体験学習33件1,384名 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止した時期があり。
生ごみ削減のための3キリ運動推進	生ごみ処理機器購入補助金交付制度	生ごみ処理機器の年間170基以上の補助を通して、生ごみの発生抑制(食材の使いキリ、料理の食べキリ)と水キリの啓発を行う。	・ホームページ(通年) ・広報いわくに(年1回) ・自治会への班回覧(通年) ・環境イベント(6月・11月) ・ごみ収集カレンダー内に掲載	生ごみ処理機器購入補助金については、令和3年度実績は172基の補助金を交付し、目標基数を達成した。

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 藤 村 篤 士

市民・事業者と協働してごみの減量やリサイクル、地球温暖化対策や省エネルギーなど循環型社会・低炭素社会に向けた取組を推進し、地域の環境保全に努めます。

環境施設課 設定者 環境施設課長 神 足 欣 男

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
「岩国市一般廃棄物処理基本計画」に沿って、安定したごみ処理及びごみの有効利用を促進し、環境保全と経済性を両立した処理施設の運営管理を行う。	清掃処理施設の維持管理	施設に搬入されるごみを適正に処理する。	・清掃処理施設の機能改善 ・民間活力の推進	・リサイクルプラザの低速破碎機の改修及び、みすみクリーンセンターの処理能力を129kl/日から158kl/日に変更した。 ・本郷ごみ処理場の管理運営業務を令和4年度から民間委託する。

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 児 玉 堅 二

子供から高齢者まで誰もが健康で暮らし続けられる環境づくりを図ります。

社会課 設定者 社会課長 村 重 武 志

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生活に困窮している市民や生活に不安を抱えている市民が、安心して生活できるよう支援を行う。	- 生活困窮者自立支援制度を活用した支援 - 生活保護制度の適切な運用 - 災害支援体制の推進	- 生活保護に至る前の段階での自立支援を図る。 - 必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。 - 災害ボランティアの受入等に関する支援及び連携体制を整備する。	- 生活困窮者からの就労や家計などの相談に応じ、就労支援や家計管理支援などを行う。 - 被保護者からの生活や就労などの相談に応じ、適切なタイミングで必要な情報提供や助言を行う。 - 災害ボランティアセンターの運営主体となる社会福祉協議会との間で、設置・運営に関する支援協定を締結する。	- R2年度までの既存の支援制度に加えて、今年度、新たに自立支援金や非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付等を行うなど、コロナ禍における生活困窮者の方々に対する自立支援を図った。 - 就労支援員が作成した支援プログラム等に沿って、延べ105名に対して就労支援を行い、延べ36名が就職した(R4.3.16時点)。 - 災害ボランティアセンターの設置・運営に関して、社協等との協議及び調整を重ね、令和4年度からの協定内容について合意した。
地域福祉計画に掲げた基本理念に基づき、各種施策、取組の推進を図る。	成年後見制度利用促進基本計画の推進	医療、福祉、司法および関係団体等が互いに連携し、成年後見制度の利用を促進するためのネットワークの体制づくりを進める。	権利擁護の支援や成年後見制度の利用促進に向けた進捗管理やコーディネートを行うなど、司令塔機能を持った中核機関の設置に向けた準備を進める。	R4年度から中核機関を設置し、機能の一部（相談窓口等）を社協へ委託するなど、関係団体とも連携を図りながら権利擁護の支援や成年後見制度の利用促進等を進めていくこととした。

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 児 玉 堅 二

子供から高齢者まで誰もが健康で暮らし続けられる環境づくりを図ります。

障害者支援課 設定者 障害者支援課長 河 村 憲 二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
障害及び障害のある人に対する理解を促進し、共生社会の実現を図る。	パラリンピック開催応援 コミュニケーション支援	・パラリンピック関連行事への参加 ・手話言語の普及・啓発	・市内でのパラリンピック採火式の挙行 ・手話言語条例の制定 ・心身障害者(児)理解促進・啓発事業等による啓発活動	・岩国総合支援学校の生徒や市内在住の山口パラアスリートの参加を得て、東京2020パラリンピック採火式を実施した。 ・手話言語条例を制定した。 ・障害者(児)作品展は開催できたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、架け橋プロジェクトなどのイベントは開催できなかった。
地域での暮らしの安心感を担保し、自立を希望する障害者等を支援する。	自立を希望する障害者への支援 災害時における支援	・障害者の生活を地域全体で支えるサービス体制の構築 ・災害時におけるストーマ用品の提供体制の確立	・地域生活支援拠点を活用した地域生活への移行 ・ストーマ用品の備蓄等	・緊急時や「親亡き後」、また、入所施設からの地域移行を進めていくため、市内のグループホームの一室を地域生活支援拠点として確保して、事業を実施し、本年度2名の利用があり、その内1名が在宅生活へ移行できた。 ・個人所有のストーマ用装具を市役所、各総合支所及び支所において保管・預かるしきみを整備し、令和4年度から災害時にストーマ用装具の支援が図れることとなった。
福祉医療費助成の適正化及びこども医療費の継続助成を図る。	福祉医療費助成及びこども医療費助成の適正管理運営	・医療費の誤請求の防止 ・こども医療費の継続助成	・国保連合会からのデータを活用した縦覧点検及び医療請求情報との突合による点検 ・財源となる子育て支援基金への積立	・レセプト点検を行う職員を配置し、誤請求を防止した。 ・令和3年度において2億7,008万9千円を子育て支援基金に積み立て、こども医療費助成の財源が確保できた。

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 児 玉 堅 二

子供から高齢者まで誰もが健康で暮らし続けられる環境づくりを図ります。

こども支援課 設定者 こども支援課長 丸 川 浩

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
子育て家庭において仕事と子育ての両立が図られている	(1)老朽化が著しい保育園の環境を改善	施設の整備による環境の改善	令和2年度から2年間でわかば保育園の施設改築工事を実施	計画どおり達成見込み。
	(2)いわくに子育て支援の情報提供	いわくに子育てアプリの整備による情報提供の改善	変化する生活様式や市民のニーズに対応していくため、新たなアプリ等の導入を検討	令和4年1月より新アプリ「母子もいわくに」導入。移行の周知を実施し、移行もれがないように対応。計画どおり達成見込み。
	(3)子育て支援に向けた相談体制の充実	子育てに不安や悩みを持つ家庭に対して、関係機関が連携して適切な相談支援を行う。	①情報収集とともに、関係機関との情報共有を図り、適切な相談支援につなげる。 ②子育て交流広場の提供や、必要に応じた児童福祉サービス(ショートステイ等)を提供する。	①新規相談件数403件(R3) 417件(R2) ②子育て交流広場等 相談件数 37件(R3) 32件(R2) 広場・講座等 13件(R3) 11件(R2) ③子育て短期支援事業(ショートステイ) 63件 83人(R3) 49件 57人(R2) ※いずれものべ数 適切な相談支援及びサービスを提供し、計画どおり達成見込み。

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 児 玉 堅 二

子供から高齢者まで誰もが健康で暮らし続けられる環境づくりを図ります。

高齢者支援課 設定者 高齢者支援課長 柏 崎 太

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域包括支援センターの機能強化を図る。	・地域包括支援センター委託事業	・直営地域型の地域包括支援センター6箇所について、業務を適切、公正、中立かつ効率的に実施する法人に委託する。	・公募型プロポーザル方式にて委託法人を選定し、運営協議会にて委託事業所を決定する。 ・令和4年2月から委託契約を行い、業務の引継ぎを行う。	・計画どおり、公募型プロポーザル方式にて委託法人を公募したが、応募はなかった。 ・現委託法人のエリア拡大に向け、運営協議会に図りながら準備を進め、5圏域のエリアすべてが次年度委託となる。
高齢者自らが地域で介護予防活動に取り組めるよう支援を図る。	・介護予防・日常生活支援総合事業 ・生活支援体制整備事業	・高齢者が地域で介護予防に取り組む「通いの場」(タイプ3も含む)を育成し、参加する高齢者を増やす。 ・「ご近所ささえあい会議」の設置を増やす (R2:27カ所を28カ所以上) ・生活支援の資源創出	・「介護予防教室」(タイプ3も含む)を開催し、「通いの場」等の団体を増やす。また、活動に参加する高齢者を増やす。 ・協議体を運営し、高齢者の生活を支える仕組みを作る。	・新型コロナでの活動休止のまま終了した通いの場はあるが、新たに「通いの場」4か所、通いの場タイプ3は、3か所(準備中も含)増やした。 ・ご近所ささえあい会議(29カ所) ・高齢者生きがいボランティアグループ(90カ所)
地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。	・地域包括ケア推進協議会運営事業 ・在宅医療介護連携推進事業	・人生会議(ACP)の啓発と、医療・介護・福祉の一体的な提供の仕組みづくり ・困難事例の支援者の包括的支援体制の整備	・日常生活圏域会議を開催(専門職)し周知 ・複合的な課題へ対応できる他部署と連携の場をもつ。	・日常生活圏域会議を開催し、医師会の人生会議に関する話題提供し、看取りの支援など協議、多職種研修会を実施した。 ・複合的な課題については、社会課と重層的包括支援体制について研修受講し、庁内体制について現状の共有を図った。

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 児 玉 堅 二

子供から高齢者まで誰もが健康で暮らし続けられる環境づくりを図ります。

高齢者支援課 設定者 高齢者支援課長 柏 崎 太

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
認知症支援体制の充実	・認知症総合支援事業	・認知症への理解等の普及啓発を促進する。 ・地域で認知症の人を見守る体制を強化する。	・認知症サポーター養成講座を若年層(中学生)や高齢者と関わりの多い事業所等で実施し、認知症サポーター数を増やす。 ・はいかい高齢者等SOSネットワーク事業の事前登録者・協力事業所を増やす。 ・チームオレンジが、高齢者や家族の集う場をつくる。	・中学校は校長会で認知症サポーター養成講座の開催を依頼し、継続して取り組んだ。 ・認知所に対し、地域ぐるみで取り組むを進めたところでは、はいかい高齢者等SOSネットワーク事業の協力事業所の登録が増え、チームオレンジは、月1回高齢者や家族の集う場を継続して開催している。
高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を継続することができる体制を推進する。	・緊急通報システム整備事業 ・あんしん情報カプセル交付事業 ・高齢者生き行きサポート事業	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる体制の整備 ・移動手段がない高齢者に対し外出支援を促す。	・緊急通報システム、あんしん情報カプセルの設置件数を増やす。 ・移動困難な高齢者に対しタクシー利用券を交付する。	・緊急通報装置は、新年度から携帯型の普及も開始することで設置件数を維持・増加につなげたい。あんしん情報カプセルについては周知を行い普及を促す。 ・タクシー利用券の利用者は増加傾向であり、引き続き取り組みを続ける。

健康福祉部(保健担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 保健担当部長 木 原 眞 弓

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をします。

健康推進課 設定者 健康推進課長 片 瀬 智 恵

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
健康づくりの推進体制の充実を図り、市民自らが生活習慣病予防や健康づくりに取り組む。	①第2次岩国市健康づくり計画の基本目標の一つである生活習慣病予防の推進についての内容を、市民活動団体に公表するとともに、サロン、社会福祉協議会等既存のグループに周知し、健康づくり活動の拡充に向け働きかける。 ②新型コロナワクチンの円滑な接種を行う。	①特定健康診査受診者を県平均より増やす。 ②特定保健指導実施率を前年度より1ポイント上げる。 ③健康づくり登録団体を前年度より増やす。 ④新型コロナワクチンを希望する人が全員接種できる。(感染症学会意向調査:接種希望70パーセント)	①特定健康診査の意義や自己負担額を無料化の周知 ②特定健康診査及び特定保健指導対象者全員に受診券を発送 ③未受診者対策として対象者別の受診勧奨 ④生活習慣病(糖尿病、肥満)予防について健康づくり計画に沿った啓発。地区組織(健康づくり登録団体、食推、母子推、協賛企業、協会けんぽ等)、行政部会と連携・協働した取り組みの継続	①特定健康診査受診率はR2年度(2月末)21.7%、R3年度(3月中旬)22.1%で、前年同時期より微増 ②特定保健指導実施率はR2年度(3月中旬)17.7%、R3年度(3月中旬)15.8%で1ポイント上げることができなかった。今年度は特に、新型コロナワクチン接種業務を優先し、健康推進課業務6か月間縮小したことによるもの。 ③R3年度は6か月間、新型コロナワクチン接種事業を推進するため、他の業務を縮小したことにより登録団体を増やすなどの健康づくり活動が十分できなかった。R2年度… ④新型コロナワクチンの初回接種率は(R3. 11. 30)85.54%であった。
安心して妊娠・出産を迎えることができ、子供が健やかに成長・発達できるための取り組みを行う。	①妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発を図る。 ②安心して子育てができるように相談支援を行うとともに、相談場所の周知を図る。 ③子育てに関わる関係機関や支援者等と母子保健の現状を共有し、連携した子育て支援を行う。	①出産後3か月頃の満足度(3か月児健診アンケートで「この地域で、今後も子育てをしたいですか。」の問いに「そう思う」と回答した保護者の割合)	①妊産婦及び乳幼児の保護者に対して、教室や相談、健診などの場を捉え、正しい知識の普及啓発を図る。 ②妊産婦や乳幼児の保護者に丁寧な相談支援を行うとともに、地域子育て支援センター、こどもの相談センターなど、子育て期の相談場所の周知を図る。 ③保育園・幼稚園等施設、地域子育て支援センター、小児科等医療機関等、子供に関わる関係機関の連携の維持・強化を図る。	出産後3か月頃の満足度(3か月児健診アンケートで「この地域で、今後も子育てをしたいですか。」の問いに「そう思う」と回答した保護者の割合は、R1年度が、81.4%(どちらかといえばそう思う、は16.1%)だったが、R2年度は、84.0%(どちらかといえばそう思う、は11.6%)R3年12月末現在の集計では83.4%となっている。

健康福祉部(保健担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 保健担当部長 木 原 眞 弓

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をします。

保険年金課 設定者 保険年金課長 村 重 和 美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の健康寿命の延伸と医療費の適正化を図り、国民健康保険料の軽減につなげる。	保健事業の強化	特定健診に対する意識が高まり、特定健診受診率と特定保健指導実施率を県平均以上にする。	①特定健診の全対象者に受診券を発送する。 ②未受診者対策としてAIを活用した対象者のタイプ別受診勧奨を実施する。 ③特定保健指導の推進 ④特定健診自己負担額の無料化	県の直近の統計資料によると、令和2年度の岩国市の特定健診受診率は28.9%で、県平均29.7%に達していない。特定保健指導実施率は、岩国市18.1%で、県平均12.8%を超えている。 ※令和3年度の数値が確定するのは、令和4年9月頃の予定
		糖尿病の重症化予防のため、糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導参加者の腎症の病期を維持する。	①Ⅱ型糖尿病を起因としている腎症の顕性期(Ⅲ期)及び腎不全期の者(がんや難病等治療中の者を除く) ②糖尿病の治療中断者、未治療者 ①及び②のうち、事業参加者に対して、保健指導を実施する。	糖尿病性腎症重症化予防事業参加者に対して12回の保健指導を実施。対象者225人のうち15人が事業参加し14人が指導完了。14人は病期を維持し、約7割の人に検査値の改善がみられた。 ②糖尿病治療中断者16人、未治療者18人に受診勧奨を通知
	後発医薬品の利用促進	後発医薬品の利用に関する理解が広まり、使用率の数量シェアが80%以上の状況を維持する。	後発医薬品利用促進のための差額通知や希望カードに加えて、被保険者全員にシールの配布を行う。	直近の統計資料R4. 1月調剤分において、岩国市の後発医薬品使用割合 81.4%で、目標値に達している。 ※年度を通じての数値の確定は令和4年6月頃の予定。

健康福祉部(保健担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 保健担当部長 木 原 真 弓

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をします。

介護保険課 設定者 介護保険課長 中 本 十 三 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者が必要とする過不足のないサービスを事業者が適切に提供するように促し、適切なサービスの確保と費用の効率化を通じて介護保険制度への信頼を高め、持続可能な介護保険制度とするため、介護給付適正化に取り組む。	・介護給付適正化事業	①利用者に対する適切な介護サービスを確保する。 ②不適正な給付を削減することで、介護保険制度の信頼感を高める。 ③介護給付費や介護保険料の増大を抑制することを通じて、持続可能な介護保険制度を構築する。	介護給付適正化事業実施計画に基づき、主要5事業に取り組み、誤りの早期発見、サービス事業者への必要に応じた指導助言を行う。 ①要介護認定の適正化(委託認定調査票の職員によるダブルチェック100%) ②ケアプランの点検(適切なケアマネジメントによりサービス提供がされているか等を確認) ③住宅改修等の点検(提出書類では判断できない事例10件程度について、訪問調査を実施) ④縦覧点検・医療情報との突合(国保連合会から提供されるデータを活用した縦覧点検及び医療情報との突合により、不適切な給付の有無を点検) ⑤介護給付費通知(年2回サービスの利用状況を本人等に通知)	①委託した認定調査の調査票について、1件当たり2回、職員を変えて点検を行い、不明な点は委託先の調査員へ直接照会した。 ②ケアプランの点検については、自立支援につながるプランになっているか等、106件について点検を行った。 ③住宅改修について、写真等の提出書類だけでは判断できない5件について、訪問調査を実施した。 ④国保連合会からのデータを活用し、毎月請求内容について点検確認を行った。 ⑤介護サービス利用者や家族に対し、9月末と3月末の年2回、介護給付費通知として、サービス回数や費用額を通知した。

健康福祉部(保健担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 保健担当部長 木 原 眞 弓

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をします。

介護保険課 設定者 介護保険課長 中 本 十 三 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域、関係機関・団体、サービス提供事業者等と連携を図り、介護人材の確保・定着・育成の取組に一体的に取り組む。	・新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業 ・中学生に対する職業講話 ・介護に関する情報提供、啓発	①新たに市内の介護サービス事業所に勤務する10名の新卒介護福祉士を確保する。 ②中学生等の若年層に対し、介護についての興味・関心を高め、理解を促進する。 ③介護に対する理解と認識を推進し、介護人材を確保する。	①「新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業」を周知、推進する。 ②市内の中学校5校以上について、介護に関する講話を行う。 ③「介護の日」に関連して各種イベントでチラシを配布し、県の助成情報等を市のホームページに掲載する。	①「新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業」について、市内対象事業所すべてにFAX等で周知するとともに、県東部の介護福祉士養成機関4校を訪問し、担当教諭に説明するとともに、リーフレットを学生に渡してもらうよう依頼した。 ②中学生に対する介護職による講話活動は、コロナ禍のため、予定していた5校のうち3校が中止となり、2校のみの実施となった。 ③コロナ禍により、各種イベントが中止になったことから、市のホームページでの周知にとどまった。
新型コロナウイルス感染症などの流行性感染症拡大防止のための取り組みや自然災害等への対応について、介護サービス事業所と連携を図り、体制整備を図る。	・介護サービス事業所に対する集団指導 ・介護サービス事業所に対する実地指導	①介護サービス事業所等において、感染症対策を徹底し、拡大防止を図る。 ②感染症や災害の発生時における施設等のサービス提供体制の維持を図る。	①介護サービス事業所に対する集団指導を年2回行い、感染症に関する対策や備えについての情報提供、災害に対する意識の醸成等の促進を図る。 ②介護サービス事業所に対する実地指導を40件以上行い、感染症対策について定期的に点検を行うとともに、災害に関する具体的な計画の策定状況の確認等を行う。	①介護サービス事業所に対する集団指導を1回実施することができたが、コロナ禍のため、1回は文書送付に替えることとなった。 ②地域密着型サービス事業所に対する実地指導は、19件について行い、適正な事業執行が行われているかとともに、感染症対策、非常災害対策計画等の策定状況や避難訓練が行われているかを確認した。

健康福祉部(地域医療担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 地域医療担当部長 山 田 真 也

市民が安心して暮らし続けることができる、持続可能な医療環境の確立を目指します。

地域医療課 設定者 地域医療課長 大 畠 辰 巳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市内医療機関等に勤務する医師や医療スタッフを増やす。	市内医療機関の医療スタッフの確保対策	市内医療機関に勤務する医療スタッフの増加	病院に勤務する医師の確保や医師が不足している診療科や地域への確保対策の推進	関係機関との協議を継続中やまぐち地域医療セミナーを実施した。
	研修医受入支援事業の実施	将来、市内医療機関に従事する医師の確保	研修医受入支援事業の実施	研修医受入支援事業を実施した。
玖北地域に将来にわたって継続できる医療提供体制を構築する。	持続可能な医療提供体制の検討	玖北地域において、持続可能な医療提供体制を構築する。	病院事業との協議の継続 次期病院事業改革プランの作成及び実施	病院事業との協議を継続中 次期病院事業改革プランは国の動向待ち
	市立病院の医療スタッフの確保対策	市立病院の医療スタッフを確保する。	医療スタッフの公募を行うとともに、新たな確保対策の実施	公募を行っている。 医療スタッフの紹介事業の拡充を検討中
	美和病院建設事業の推進	新病院の建設	用地取得を進め、建設事業の推進	実施設計を作成中 造成工事に着手する。
救急医療の堅持と適正受診の推進	岩国市救急医療対策協議会・専門部会の開催	本市の救急医療についての情報共有を行い、施策の方針を確認する。	専門部会の開催・情報の共有	専門部会を開催した。
	救急医療機関への運営支援	本市の救急医療提供体制を確保する。	救急医療機関への運営支援 患者輸送艇の更新	患者輸送艇を更新した。 地域外来・検査センターと感染症対策医療材料備蓄事業を行っている。
	救急医療適正受診の啓発	救急医療の崩壊につながらないよう、軽症者のコンビニ受診を抑制する。	様々な媒体を利用して啓発を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響がある中でできる範囲の啓発を継続している。

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加 納 芳 史

既存産業の振興と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。
 ・企業誘致や地域に根付いてきた既存産業の振興 ・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

商工振興課 設定者 商工振興課長 上 田 清 次 郎

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
コロナ禍の影響を受けた地域経済の回復を図る。	・雇用安定補助金事業 ・プレミアム商品券発行事業	・市民の雇用を守り、事業者の貴重な人材を確保する。 ・市民の消費を喚起することで地元の商店等で買物が行われ、地域経済の活性化・中小企業者の事業継続が図られる。	・企業の休業等に伴い国の雇用調整助成金等を受給した事業者又は労働者に市独自の補助金を上乗せ交付する。 ・5千円で1万円分の商品券が購入できるプレミアム率100%の商品券を1世帯当たり2セット分発行する。	・感染拡大が長引く中、市独自の補助金を交付することで、休業を余儀なくされた事業者(労働者)の雇用の維持・確保に一定の成果があった。 ・商品券の発行により約12億円の直接消費が発生し、市内経済の回復に寄与することができた。
企業誘致に取り組み、雇用の創出を図る。とりわけサテライトオフィスの誘致を強力に進める。	・サテライトオフィス等活用促進事業	・テレワークなどの働き方に対応したサテライトオフィスを誘致することで、新たな雇用や地元企業のイノベーションが図られる。	・本市のサテライトオフィス誘致戦略を策定し、戦略に合致した全国のサテライトオフィス進出を検討する企業にアプローチする。	積極的なアプローチ戦略により、サテライトオフィス進出について4社と協定を締結することができた。
新たに整備したインキュベーション施設を活用し、創業を支援する。	・しごと創業支援型地域活性化事業	・創業を目指す人材をハード、ソフト両面で支援することで、市内での起業・創業が促進される。	・令和2年度にオープンしたClass Biz.において、シェアオフィスやコワーキングスペースを提供するとともに、創業に必要なセミナーや個別相談を実施する。	コロナ禍の中、1年を通じてセミナーや個別相談会を開催するとともに、のべ3千人を超えるコワーキングスペースの利用があり、創業者等の支援につながった。
市内企業の魅力を発信し、地域雇用の促進を図る。	・市内企業情報誌発信事業	・大学進学前の学生やUJIターンを検討する人材に市内企業の魅力を発信することで、地元雇用や定住が促進される。	・令和2年度に発行した市内企業情報誌の更新を図るとともに、ホームページを開設し、遠隔地に居住する就職希望者に情報を発信する。	市内企業情報誌を更新し、市内高校1年生に配布するとともに、ホームページを作成し、気軽に閲覧、検索できる環境を整えた。
地域ブランドの認知度を高める。	・地域ブランド推進事業	・岩国ブランドの魅力が全国で認知され、地元特産品の購買力が向上し、地域産業が活性化される。	・令和2年度に販売開始した「つまんでちょんまげ」の販路を拡大し、全国に向けたプロモーションを実施する。	認知拡大に向けた動画を製作し、YouTubeで公開。視聴回数24万回を超え、十分なプロモーション効果を得ることができた。

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加 納 芳 史

既存産業の振興と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。
 ・企業誘致や地域に根付いてきた既存産業の振興 ・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

観光振興課 設定者 観光振興課長 山 本 隆

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
観光情報の発信	・魅力ある観光情報の発信 ・イベント等でのフォロワー勧誘 ・フォトコンテスト等の一般参加型イベントの実施	フェイスブックとインスタグラムともに、年間でフォロワー数500の増加を目指す。	・SNSでの発信(文書等)の仕方を工夫する。 ・話題性のある情報や旬な情報をスピード感をもって発信する。	コロナ過における情報発信であったため、フェイスブック約150増、インスタグラム約700増の結果となった。
体験型観光の推進	・錦帯橋周辺における体験観光の周知徹底 ・錦帯橋周辺以外での体験観光の周知徹底	体験型観光の項目について、1項目以上で前年度比の1割増を目指す。	・体験観光の情報をSNSやHP等で定期定期的に発信する。	コロナ過での情報発信であり、鶺鴒遊覧事業において、秋遊覧では前年比で1割増となったが、春遊覧、う飼遊覧では前年並みとなった。
空港の利用促進	・首都圏に向けた魅力ある観光情報の発信 ・市内・近隣に向けた沖縄線の利用向上の取組	羽田線・沖縄線での搭乗率を前年度比3割増の回復を目指す。	・空港利用促進として、首都圏への季節感をもった観光広告等の実施 ・旅行先としての沖縄魅力のPR ・修学旅行先として学校へプレゼン等を実施	コロナ過における空港利用促進となり、年間を通してのPR事業ができなかったことから、搭乗率は前年比で上回ったが、3割増までには至らなかった。
観光・交流設備の充実	・岩国城や岩国城周辺の魅力発信 ・錦帯橋・岩国城周辺の散策ツールの調査研究	岩国城等の周辺設備等の充実により岩国城入館者の前年度比1割増を目指す。	・城郭カードの導入検討 ・岩国城展望の情報発信 ・岩国城の知られざる魅力の情報発信	展望設備の双眼鏡改修し、魅力を向上した。SNSやHPの情報発信を行い、入場者は、前年比で上回ったが、1割増までは至らなかった。

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加 納 芳 史

既存産業の振興と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。
・企業誘致や地域に根付いてきた既存産業の振興 ・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

錦帯橋課 設定者 錦帯橋課長 善 村 雄 二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
錦帯橋を文化財として保存管理を行う。	・錦帯橋保存管理事業	・錦帯橋を定期的に点検し、適切な対応の実施により、安全な状態を維持する。	・毎日及び毎月の点検を行う。 ・点検で発見した箇所を速やかに対応する。	・毎日及び毎月の点検を実施した。 ・点検において発見した箇所は速やかに補修等を行った。
錦帯橋の入橋者の利便性を向上する。	・錦帯橋の入橋環境の向上	・入橋料の徴収方法にキャッシュレス制度を導入することで、入橋者の利便性を向上する。	・キャッシュレス制度の導入に当たり、運用手法について検討する。	・令和4年2月21日からキャッシュレス決済を導入した。 導入決済: PayPay(ペイペイ) Alipay(アリペイ)
錦帯橋の世界遺産登録への取組を推進する。	・錦帯橋世界遺産推進事業	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策を踏まえ、「世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書 錦帯橋」を更新するための調査研究を進め、取組について啓発活動を行う。	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策を踏まえ、錦帯橋の調査研究や各種委員会の開催、普及啓発イベントを検討する。	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を踏まえ、調査研究及び各種委員会をWeb方式を取り入れ開催した。 ・錦帯橋世界遺産セミナー2021及びパネル展を開催し普及啓発を図った。

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加 納 芳 史

既存産業の振興と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。
 ・企業誘致や地域に根付いてきた既存産業の振興 ・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

生産流通課 設定者 生産流通課長 石 本 英 二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の食生活の安定及び向上に資するため、市場の適正かつ健全な運営を確保する。	経営戦略の策定	市場事業を将来にわたり安定的に継続させるため、経営戦略を策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に資する。	市場関係者への聴取等による市場事業の現状分析、将来予測及び課題整理等を行い、経営戦略を策定、公表する。	岩国市地方卸売市場の現状分析、将来予測及び課題整理等を行い、市場事業を将来にわたり安定的に継続させるための方針・取組を示す「市場事業経営戦略」を策定し、議会に説明の上、市ホームページ上で市民に公表することができた。
	円滑な施設整備の実施	予定している施設整備を円滑に実施し、市場関係者が業務を行いやすい環境を整える。	市場業務に支障をきたさないよう市場関係者の理解と協力を得て、本年度末までに施設整備を滞りなく完了させる。	予定していた施設整備について、市場業務に支障をきたすことなく工期内に完了させ、市場関係者が業務を行い易い環境を整えることができた。
地産・地消を推進し、地場野菜の市場供給率を向上させる。	農産組織を育成・支援する。	農業振興及び市場出荷に寄与する農産組織を支援することにより、地場野菜の市場出荷を促進する。	栽培研究や出荷資材等に要する経費の一部を補助し、市場出荷する農産組織の育成・支援を行う。	補助の主となっている出荷資材のみならず、補助対象となり得る栽培研究費等への補助金の有効活用についても指導・補助（玉ねぎの育苗等）することにより、農業振興及び市場出荷に寄与する農産組織を支援した。

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加 納 芳 史

既存産業の振興と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。
・企業誘致や地域に根付いてきた既存産業の振興 ・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

生産流通課 設定者 生産流通課長 石 本 英 二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
	地場野菜の消費拡大を図る。	生産から流通、販売、消費に至るまでの体制を強化し、地場野菜の消費拡大を図る。	・関係諸団体と連携した販売促進活動を実施する。 ・料理講習会や主催・共催イベント等を通じ、地場野菜をPRする。 ・コロナ禍においてでき得るPR、取組について検討・実施する。	コロナ禍で地場野菜等の量販店における販売促進活動等が制約される中、 ・デジタルサイネージ(電子掲示板)によるPR ・収束時期に料理教室、市場ふれあい朝市との共催による「岩国れんこんまつり」の開催 ・社会見学で来場する市内小学校の児童へ配布するための関係諸団体と連携したPRグッズの作成(自由帳・鉛筆・メモ帳) ・学校給食への地場野菜等の提供によるPR(白菜・さくら)を通じ、地場野菜等の消費拡大を図った。
地産・地消を推進し、地場野菜の市場供給率を向上させる。	地場野菜の販路拡大を図る。	市場における多様な出荷、販売経路を利用し、地場野菜の市場出荷の安定及び増加を図る。	・市場内にある岩国学校給食センターへの食材納入体制を強化し、関係機関の情報共有による地場野菜の確実な納入及び納入量の増加を図る。 ・広島広域都市圏事業の中で、地場野菜の販路拡大を模索する。	・昨年度から強化した市場内にある岩国学校給食センターへの地場野菜食材納入体制が機能し、計画→出荷→流通→納入の過程にトラブルもなく確実な納入ができた。 ・コロナ禍で本年度に予定していた広島広域都市圏事業が中止される中、岩国空港を利用したANAファーム事業(大手量販店・空港イベントでの販売促進)や東京の飲食店グループへの試験的な納品を通じ、岩国れんこんの首都圏への販路拡大に向けた足掛かりを作った。

産業振興(農林水産担当)部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産担当部長 沖 田 通 浩

美しく活力ある農山漁村づくりのため、農林漁業者のしっかりした生活・生産基盤の実現を支援する専門家組織づくりを進めます。

農林振興課 設定者 農林振興課長 藪 本 泰 男

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やす。	就農開始直後の経営安定を図る。農業次世代人材投資事業	認定新規就農者を毎年確保する。	就農相談(随時) 就農計画の策定を支援(随時) 就農認定後に給付金を交付(原則年2回)	就農相談・就農計画策定支援を随時実施した。また、令和2年度に初めて実施した岩国地域特化型就農相談会を令和3年度も引き続き実施し、就農希望者の掘り起こしに注力した。新規就農者1名、新規就業者6名を確保した。
	農地中間管理機構事業	中心経営体に集積・集約化を推進する。	貸出希望登録(随時) 借受希望募集(随時) 農用地利用配分計画協議(4月・11月)	本市から農地中間管理機構へ借受希望者23人(借受希望面積68ha)、貸付希望232筆(貸付希望面積24ha)が登録されている。令和3年度の本市の当該機構事業活用実績は、1農業者等へ17筆1.8haの集積を実施した。中心経営体への農地集積を推進しているが、思うように集積は進んでいないのでさらにPRを行って行く。
	森林整備加速化・林業再生事業	森林組合等の林業経営体への雇用を毎年確保する。	森林組合等の労働環境の整備のため高性能林業機械等を導入(随時)	森林組合等の林業経営体に緑の雇用事業等の活用により雇用を確保した。3森林組合等で7人を新規採用した。

レンコン生産に伴う農地利用・基盤整備促進事業	レンコン共販出荷量を年間250tにする。	農地の流動化を進める(随時)。	令和3年度のレンコン共販出荷及び市場取扱量の実績は、2月末時点で約125トンとなっている。圃場については、ほとんどが適正に耕作されており、円滑な経営が行われている。
ブランド牛産地づくり事業	ブランド牛となる市有牛の飼育(貸付)頭数を80頭にする。	優良子牛保留支援(随時) 市内産優良子牛導入支援(随時)	令和3年度より岩国和牛ブランド化対策事業の制度拡充を行い、補助上限を7万円から10万円へ、頭数制限を撤廃し無制限にしたことにより、2月末時点で昨年度の倍以上の66頭の申請があった。令和3年度末の累計の市有牛の数は107頭となっている。令和3年度2月末時点までの保留支援累計頭数は25頭、ブランド対策支援累計は98頭となっている。
ブランド米の確立対策	結びつき米の生産量を年間1,000tとする。	学校給食センターでの利用を働きかける(随時)。 営農組合、集落営農法人への作付け誘導(随時)	昨年度はコロナ感染症拡大の影響から実施出来なかった「11j米グランプリ」を本年度は、個別ではあったものの実施し結びつき米のPRを図った。令和3年度の結びつき米の生産量は約600トンであった。

産業振興(農林水産担当)部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産担当部長 沖 田 通 浩

美しく活力ある農山漁村づくりのため、農林漁業者のしっかりした生活・生産基盤の実現を支援する専門家組織づくりを進めます。

農林整備課 設定者 農林整備課長 佐 伯 史 公

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農地・森林の基盤整備を進め、意欲ある農林業者の割合を増やす。	農山村生活環境施設の保全・整備	農村生産基盤の整備と併せて生活環境整備を充実させる。	農業農村整備事業を活用し、農山村生活環境の整備・保全を推進する。	市事業及び防衛事業を活用し計画どおりの事業量を達成することができた。
	多面的機能支払事業	地域資源である農地・水路・農道の維持と質的向上を行う共同活動を推進する。	多面的機能支払(農地維持支払・資源向上支払)交付金により集落ぐるみでの共同活動を支援する。	活動組織を2組織追加(32組織→34組織)することができ、取組面積も612ha→617haへ拡大することができた。
	林道開設・改良事業	林道開設・改良による林道密度の向上	農山村地域の振興や生活環境改善及び効率的な林業経営や森林の適切な維持管理のための林道開設を行う。	・林道開設事業により林道沼田線の全線が完成し林道密度の向上を図ることができた。 ・民有林の森林整備に合わせた林道改良を行ったことにより、運搬が効率的となり林業経営に寄与することができた。

産業振興(農林水産担当)部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産担当部長 沖 田 通 浩

美しく活力ある農山漁村づくりのため、農林漁業者のしっかりした生活・生産基盤の実現を支援する専門家組織づくりを進めます。

水産港湾課 設定者 水産港湾課長 下 岡 新 治

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
漁業生産力を向上させる。	離島漁業再生支援事業	離島漁業及び漁業集落の活性化、振興を図る。	離島漁業再生支援交付金を支給して支援する。	交付金を活用した漁業集落の漁業活動が活発に行われ、脱水機などの購入により、漁業の活性化が図られた。
	水産多面的機能発揮事業	漁業者による干潟や河川の保全活動により、水辺の多面的機能の効果を効率的に発揮させる。	水産多面的機能発揮対策事業費補助金を活動グループに支給する支援を行う。新規活動グループの拡大を図る。	活動グループと意思疎通を図り、支援・指導により干潟の機能は向上したが、新規活動グループの参加には至らなかった。
	稚魚等放流事業	稚魚の放流による栽培漁業を推進させ、水産資源を管理する。	漁業者と協力して、放流量や場所等を調整し計画的に実施する。	漁業者とよく調整して、稚魚を計画的に放流できた。
漁場環境の整備及び保全を実施する。	有害鳥獣被害防除事業	食害を防ぐため駆除等による羽数の適正化を図る。	関係漁協へ委託して実施する。	関係漁協に委託して、追払いや駆除など実施できた。
漁港施設を整備する。	通津漁港水産物供給基盤機能保全事業	通津漁港の老朽化した物揚げ場護岸を整備し、漁業者の安心・安全な施設利用を図る。	水産物供給基盤機能保全事業補助金により実施する。	補助金により令和2年度から継続事業として実施し、令和3年度は計画どおり整備できた。
	黒島漁港水産物供給基盤機能保全事業	黒島漁港の老朽化した物揚げ場護岸を整備し、漁業者の安心・安全な施設利用を図る。	水産物供給基盤機能保全事業補助金により実施する。	補助金により継続事業として整備中であり、令和3年度は計画どおり整備できた。

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内 坂 武 彦

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要とされる施設を整備します。

道路課 設定者 道路課長 坂 本 剛

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
楠中津線などの幹線道路の整備に努める。	楠中津線等幹線道路整備事業	楠中津線の第1工区の延長790mについて、令和8年度の完成を目指す。	楠中津線(第1工区、L=790m)の工事を進める。	不在者管理人制度により残っていた用地取得が全て完了し、予定通り工事に着手できた。 用地補償完了率 令和2年度 99% 令和3年度 100%
主に生活道路として利用される市道の整備を進める。	市道(生活道路)整備改良事業	市道の改良率を毎年0.1%(約1.5km)向上させる。	狭あいな市道を4m以上に拡幅改良する。また、民間の開発行為を適切に指導し、良好な市道を構築する。	地権者の協力を得て適切な用地交渉を実施し拡幅改良を実施した。また、民間の開発行為による帰属を適切に審査指導し、微増であるが増加した。 令和2年度 58.88% 令和3年度 58.94% (増 528m)
橋りょう等の安全性と利便性を向上させるために長寿命化及び耐震補強を実施する。	橋りょうの長寿命化事業及び耐震補強事業	橋りょうの点検結果に基づき修繕・補強を毎年7橋実施する。	点検結果に基づき見直しを行った長寿命化修繕計画等に沿って、緊急性、重要性の高い橋りょうから長寿命化事業及び耐震補強事業を実施する。	橋の重要度、損傷の程度などを考慮し、優先順位の高い橋梁の修繕工事に7橋着手したが、愛川橋などの大規模な橋梁を先行していることから、目標達成は困難となっている。 完成件数 令和2年度 2橋 令和3年度 3橋

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内 坂 武 彦

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要とされる施設を整備します。

河川課 設定者 河川課長 土 井 浩 義

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
土砂災害防止に向けた対策の推進と啓発活動	土砂災害警戒区域等の周知と急傾斜地崩壊対策事業の推進	・市民への警戒区域の周知 ・対策事業に関する事前説明会 ・対策事業の推進	・ホームページや広報による情報提供の継続 ・個別説明会の開催 ・小規模急傾斜地崩壊対策事業、がけ崩れ災害緊急対策事業等の推進	・適切な周知を実施 ・必要な説明会を実施 ・予定どおり、小規模急傾斜地崩壊対策事業を実施 ・今年度発生したがけ崩れ箇所に対し、対策事業を実施中
雨水排水路の整備	雨水排水等排水路整備による浸水対策	・排水路の計画的改修 ・浸水常習地区の対策	・牛野谷地区、愛宕地区、楠木地区、楠・中津地区、多田地区及び錦見地区の排水整備 ・横山地区及び南岩国町一丁目地区の浸水対策策定	・牛野谷地区、愛宕地区、楠地区、楠・中津地区、多田地区の排水路整備を計画的に実施 ・錦見地区は継続中 ・横山地区及び南岩国町一丁目地区の浸水対策策定継続中
浸水被害軽減のための浚渫を含む河川改修とポンプ場の整備	浸水被害を防ぐための排水対策事業の推進	・準用、普通河川の能力不足の解消 ・ポンプ場の計画的な整備	・緊急浚渫推進事業の推進 ・河川改修の計画的実施 ・ポンプ場の計画的な整備 ・過年災害復旧工事の早期完成	・予定どおり、緊急浚渫推進事業を実施 ・計画どおり、河川改修を実施 ・関係課と調整し、ポンプ場の計画的な整備を実施中 ・過年災害復旧工事の早期完成に向けて実施中

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内 坂 武 彦

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要とされる施設を整備します。

下水道課 設定者 下水道課長 藏 田 敦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
効率的な污水处理を構築し、下水道普及率の向上と下水道施設の適切な維持管理を目指す。	・効率的な面整備の計画と計画的な工事の発注に努める。 ・計画的な管更生工事を進める。 ・工事及び維持管理は安全を第一に行う。	・下水道処理人口の処理率を年間0.5%向上させる。	・家屋の密集地又は人口の密集地域から優先して工事発注する。 ・工事の施工は、施工計画を充実させて安全を第一に行う。	・家屋が密集している尾津一の谷団地の接続が完了 ・下水道処理人口の処理率を0.5%向上させる目標に対し、0.4%向上
人口密集地域の浸水対策を行う。	・雨水調整槽の整備を行う。 ・工事は安全を第一に行う。	・市役所前に雨水調整槽を整備する。	・工事着手までに関係部署と調整を完了し、施工計画を充実させて安全に工事を進め、雨水調整槽を完成させる。	・下水道の雨水排除に用いる降雨強度式が改定され、その内容と整合性を図った雨水調整槽としたため、施工時期が遅れたが、安全に留意し工事を進めている
経費節減に努め、下水道事業の健全な経営を目指す。	・正確な事務処理を行う。 ・適切な予算編成と適正な会計処理を行う。	・監査からの指摘がないようにする。	・担当者任せにせず、承認者全員がチェックする。	・会計処理は正確且つ適正に処理している
下水道使用料の収納率の向上と不納欠損額の減額を目指す。	・上下水道料金徴収一元化に伴う円滑な徴収事務に努める。 ・滞納整理を行う。	・収納率を前年度より上げる。 ・上下水道料金の同時徴収の状況を見ながら滞納整理を行う。	・水道局職員と調整を図りながら利用者の理解が得られるよう説得する。 ・電話での催告を行う。 ・納付誓約をとる。 ・差押えを実施する。	・令和3年4月より上下水道料金の一元化を開始しており、水道局と連携して円滑かつ順調な徴収が行えている ・滞納整理は計画的に対応している

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内 坂 武 彦

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要とされる施設を整備します。

都市排水施設課 設定者 都市排水施設課長 片 野 光 一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
下水道施設のストック・マネジメント計画を基にした改築の推進を図る。	ストック・マネジメント計画の改築事業計画に沿った事業の実施	改築を推進することによって、ライフサイクルコストの削減を図る。	社会資本総合整備計画に沿った事業の進捗管理	令和2年度に作成した、ストック・マネジメント計画の改築計画に沿って、工事に着手することができた。
装束・川下地区のポンプ場整備を計画的に進める。	土木・建築・機械・電気等各工事の進捗状況を把握し計画的に工事を進める。	装束・令和4年度、川下・令和11年度完成を目指している。	それぞれのポンプ場の完成目標に沿った年次計画を基に事業の進捗の管理	装束地区においては、新ポンプは予定通り令和4年度から稼働できる。あわせて、旧ポンプ場のポンプ更新により早期の能力アップに取り組んでいる。また、川下地区においては、順調に整備を進めることができた。
老朽化の進んだ河川ポンプ場の修繕・改築を進め施設の長寿命化を図る。	年次点検等の結果に基づき施設の修繕・改築を進める。	老朽化の進んだ河川ポンプ場の優先度に沿った改築計画を作成する。	それぞれのポンプ場の完成目標に沿った年次計画を基に事業の進捗の管理	令和4年から令和7年の間に、緊急自然災害防止対策事業によって、老朽化の進んだポンプ場の改修を進める計画を作成することができた。

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山 中 文 寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

都市計画課 設定者 都市計画課長 長 谷 倫 孝

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
幹線道路の整備率を毎年増加させる。	岩国大竹道路等の幹線道路の早期整備促進	岩国大竹道路及び藤生長野バイパス(岩国南バイパス南伸)の早期完成に向け、国の幹線道路整備予算が計上され事業進捗がみられる。	・早期整備等に向け、国土交通省等の関係機関に要望を行う。 ・事業の進捗に向け、随時行われる各種調査・協議等について、県等の関係機関とも連携のうえ適切に対応する。	早期整備に向け、国土交通省等の関係機関への要望活動を実施した。 岩国大竹道路は、室の木ICの工事が進捗しており、岩国トンネル工事も着手された。藤生長野バイパスは、設計説明会が開催され、仮幅杭設置・用地境界復元作業に入るなど順調に進捗している。
地域特性を活かしたまちづくり計画を作成する。	土地区画整理事業見直し計画策定事業	西岩国駅前については、まちづくり協議会を設立し、土地区画整理事業に代わるまちづくり整備計画を住民とともに策定する。 南岩国駅前については、都市構造再編集中支援事業を実施し、土地区画整理事業に代わるまちづくりを推進する。	・西岩国駅前については、住民等が、まちづくり計画を考える場として、まちづくり協議会を設立できるよう支援する。 ・南岩国駅前については、説明会等により、住民の意見を聞きながら、まちづくりの構想を検討する。	・西岩国駅前については、まちづくり協議会設立準備会を5回開催するとともに、地区住民とまちづくり座談会を実施した。 ・南岩国駅前については、まちづくりの整備素案について意見交換会を開催した。
予測される都市構造の変化に対応したまちづくりの計画を行う。	予測される都市構造の変化に対応した都市計画の推進を行う。	計画決定当時から社会情勢が大きく変化する中、都市計画道路や都市計画公園等の都市計画施設の必要性や実現性を適正に評価し、事業の推進又は都市計画の見直しを図りつつ、立地適正化計画を推進し、持続可能なまちづくりを推進する。	・都市計画道路や都市計画公園等の都市計画施設の見直しに向けて関係機関との協議・調整を進め、必要に応じて、廃止の手続きを進める。 ・立地適正化計画を推進するため、防災指針の先行都市での現状を把握し、これを踏まえた計画を検討する。	・都市計画施設(都市計画道路、都市計画公園、ごみ焼却場)の見直しを進め、都市計画の廃止の手続きを実施した。 ・立地適正化計画を推進するため、令和4年度から防災指針の策定を踏まえた計画の改定に向け取組を進めていく。

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山 中 文 寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します

公園景観課 設定者 公園景観課長 藤 野 修 二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
人々が集い安らぎのある公園緑地を整備推進する。	・長寿命化計画に基づいた公園施設の改修・更新の推進 ・市民のニーズに沿った公園施設整備の推進	市民のニーズを把握し、長寿命化計画に基づいて人々が安心して利用できる公園施設を整備する。	老朽化した公園施設の改修・更新工事を、13か所の公園で実施する。	公園施設の改修・更新として14か所の公園を実施し、その他新規の公園整備や健康づくり施設整備も実施した。
安心・安全で快適な公園緑地の維持管理を推進する。	公園、緑地などの状況を正確に把握するとともに、より効率的な維持管理を目指す。	地元要望、利用状況、施設の状態、緊急性など考慮し、優先順位を定め計画的に整備を実施する。	・予算配分等考慮しながら計画整備案の80%以上を実施する。 ・ふくろう公園の適正な維持管理を行うための運用計画を策定する。	・地元要望の強いものや緊急性の高いものについて概ね実施できた。 ・ふくろう公園については通常の維持管理計画を策定し、予算要求にも反映できた。
良好な景観の形成に向けた景観まちづくりを推進する。	景観形成事業補助金の活用推進	歴史的建築物やまちなみを保全するとともに、周囲の歴史的なまちなみと調和した建築物が建てられ、良好な景観が形成される。	対象物件所有者に対して、補助制度の資料パンフレットを郵送し、更なる周知を進め、横山・岩国重点地区の修景・修繕助成を11件以上行う。	対象物件所有者のみならず、重点地区に全戸配布し、関係機関へも周知を図った。横山・岩国重点地区での修景・修繕に対する助成は16件行った。
駐車場・駐輪場の改修及び維持管理を推進する。	三笠橋駐車場、麻里布駐車場等の改修工事の年次計画を立てる。	改修工事の計画を年次的に整理することで、駐車場事業特別会計の健全財政の維持と財源となる駐車場基金の効果的な活用に資する。	三笠・麻里布・岩国駅東口・岩国駅西口の駐車場について、令和4年度からの新たな指定管理の基本協定を締結する。	三笠・麻里布・西口1・西口2・東口の駐車場について令和4年度から令和8年度までの指定管理者の指定を議会の議決を経て基本協定を締結した。

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山 中 文 寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

拠点整備推進課 設定者 拠点整備推進課長 倉 橋 幸 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
岩国医療センター跡地において、福祉・科学学習施設を核として、ふれあい交流施設、自然交流施設、健康増進施設を配置した総合的な福祉・交流拠点となる「いこいと学びの交流テラス」を整備する。	・令和元年度に策定した実施計画に基づき、建築等の詳細設計に着手する。 ・令和2年度に策定した土木設計に基づき、造成ほか土木工事に着手する。 ・医療センター跡地を適切に管理する。	・建築等の詳細設計については、令和5年度から工事着手できるよう、令和3年度から2か年をかけ、令和4年度内の完成を目指す。 ・令和5年度から建築工事に着手できるよう、造成ほか土木工事については、令和5年度内の完成を目指す。 ・工事や跡地管理においては、周辺住民からの苦情等がないよう、周辺環境対策に配慮し、適切に講じる。	・建築等の詳細設計においては、庁内関係部署、関係機関と調整を図るとともに、イニシャル・ランニングコストの削減に努める。 ・土木工事においては、説明会等を開催し、施工方法等について丁寧に説明したうえで、周辺環境対策に配慮しながら実施する。 ・区域周辺の草刈り等についても、周辺住民の声に耳を傾けながら、必要に応じて迅速かつ柔軟に対応する。	・建築等の詳細設計においては、定例会議やヒアリング等により庁内関係部署と適切に連携・調整を図るとともに、建築資材等が高騰している状況の中、可能な限りイニシャル・ランニングコストの削減に努めながら、令和4年度内の完成に向けて鋭意取り組んでいる。 ・土木工事については、まん延防止等重点措置の適用を受け、工事説明会に代えて、お知らせ文書の各戸配布により工事内容の周知を実施し、現在、周辺環境対策に配慮しながら工事を実施している。 ・区域周辺の草刈り等の周辺環境対策については、適宜、パトロールを実施し、地元の声に配慮しながら適切な対応に努めた。

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山 中 文 寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

拠点整備推進課 設定者 拠点整備推進課長 倉 橋 幸 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
城下町地区において、「住んでよし訪れてよし」のまちづくりを目指し、新たな人の流れを生み、地区の賑わいにつなげていくため、新たな観光駐車場を整備する。	・令和2年度に実施した土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)の対策工法の比較検討業務に基づき、対策工事や駐車場整備工事の詳細設計を実施する。 ・岩国市土地開発公社が先行取得した当該駐車場用地の一部を買い戻す。 ・事業用地を適切に管理する。	・急傾斜地対策においては、令和4年度から工事着手できるよう、今年度内に詳細設計を完了させる。 ・駐車場整備においては、令和4年度に工事着手できるよう、今年度内に詳細設計を完了させる。 ・事業用地については、周辺環境対策に配慮して、適切に管理する。	・急傾斜地対策の詳細設計の発注にあたっては、対策工法の比較案において、費用対効果や景観への配慮など、関係部署と調整し、最適手法を選定したうえで、詳細設計を実施する。 ・駐車場の設計においては、関係課と連携し、観光協会などの意見を踏まえつつ観光駐車場に必要な機能等について調整を図りながら進める。 ・駐車場用地の現状を把握し、土砂流出防止や草刈り等の周辺環境対策を実施する。	・令和4年度に工事着手できるよう、急傾斜地対策工事・駐車場整備工事の詳細設計を完了させた。併せて整備箇所が重要文化的景観に選定されたことから、景観にも配慮した整備計画とし、文化庁等の関係機関とも協議・調整を行った。 ・市が取得している用地や市公社が先行取得している用地においても、草刈等を実施し、周辺環境に配慮し、適切な管理を行った。
・川下地区において、官民協働によるまちづくりを推進する。	・川下地区においては、まちづくり協議会が主体となり、「川下地区まちづくり計画」を見直すための活動を支援する。	・令和元年度から3か年をかけて計画の見直しを行うこととしており、令和3年度には、協議会としての新計画の素案を取りまとめ、地域住民の合意形成を目指す。	・まちづくり協議会が開催する各種会議等の運営支援をはじめ、計画見直しの検討や地域住民の合意形成を図るための説明会の開催など、様々な協議会活動の支援を行い、協議会による新計画の取りまとめを目指す。	・新型コロナウイルス感染症対策により、川下地区住民を対象とした説明会の延期など、業務スケジュールに影響が生じた。 ・来年度早々には、協議会による新計画を取りまとめ、住民説明会を行い、合意形成を目指す。

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山 中 文 寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

拠点整備推進課 設定者 拠点整備推進課長 倉 橋 幸 夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
城下町地区において、官民協働によるまちづくりを推進する。	・令和元年に作成した「城下町地区グランドデザイン」の推進により、まちづくりへの取組を進めていく。	・グランドデザインに基づく推進体制により、PDCAサイクルを適切にマネジメントしていくことで、官民協同のまちづくり推進を目指す。	・まちづくりへの取組が円滑に進むよう、地域との意見交換会や庁内プロジェクトチーム会議等を随時実施する。 ・将来のまちづくり協議会発足に向けた準備会の設立等について、側面的な支援を行いながら、地域住民主導型のまちづくりへの転換に向けた機運醸成を図る。	・城下町地区では、多くの部署がそれぞれの分野でまちづくり事業に取り組んでいる。これらの事業を効果的・効率的に進めていくことが重要であり、年度当初に定期的にプロジェクトチーム会議を開催し、情報共有と部署間の連携に努めた。また、自治会や地元経済団体等、地域住民と意見交換会を開催することで情報共有を行った。

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山 中 文 寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

中心市街地整備課 設定者 中心市街地整備課長 村 重 総 一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
事業所数の増加と空き店舗率の改善	中心市街地活性化対策事業	令和6年度に事業所数230店舗、3商店街の空き店舗率12.2%の達成目標を目指す。	空き店舗などの遊休不動産や既存店舗を多角的な手法により、魅力ある店舗、施設として再生するための費用の一部を助成する。	助成件数は、26件であった。事業所数と3商店街の空き店舗率は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度の数値を下回る結果となった。
岩国駅前南地区市街地再開発事業の推進	岩国駅周辺再開発事業	令和3年度中の都市計画決定を目指す。	準備組合が立案する事業計画への指導と関係機関との事前調整を行い、合意形成が図られた事業計画が整い次第、都市計画手続を進めていく。	岩国駅前南地区市街地再開発事業の都市計画決定を行った。引き続き、官民が連携し、事業の推進を図っていく。
	岩国駅周辺にぎわい創出施設整備事業	再開発事業のスケジュールに合わせて図書館機能を核としたにぎわい創出拠点施設の整備を目指す。	にぎわい創出拠点施設の整備に向けた基本計画の策定を実施する。	にぎわい創出拠点施設の整備に向けた基本的な指針・計画となる基本構想を策定した。今後も、再開発事業のスケジュールに合わせながら、にぎわい創出拠点施設の整備を進めていく。
南岩国駅前広場等の整備による機能強化及び利便性の向上	南岩国駅周辺整備事業	交通結節点機能の強化や利便性の向上のため、令和5年度中に駅前広場等の完成を目指す。	①駅前広場の整備をする。 ②駅前広場の入口と合わせて交差点をコンパクト化する。 ③既設駐輪場の改良及び新たな駐輪場の整備をする。	交差点のコンパクト化に向けた、市道の振り替え工事を行った。引き続き、スケジュール通りに整備を進めていく。

都市開発部(建築政策担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建築政策担当部長 坂 上 政 行

安心して暮らし続けられる、人にやさしい持続可能な住環境の実現に取り組みます。

建築住宅課 設定者 建築住宅課長 岡 原 達 也

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
職員個々が高い目標意識をもって、公共施設マネジメントによる計画的な施設更新に取り組む。	公共施設の計画的な保全や改修を図る。 従事する職員の人材育成に努める。	長期の市民サービスに耐え得る良好な施設の整備を行う。 職員は、専門的な知識、技術の習得のため、研修・講習を積極的に受講する。	個別施設計画に則り、営繕・環境整備を推進する。 職員は技術力の向上を目指し、技術研修等の受講や資格取得に取り組む。	東小中学校整備 周東庁舎整備 建築士指定講習受講 4名 一級建築士 1名 二級建築士 1名 建築基準適合判定士 1名 一級管工事施工管理技士2名 消防設備士甲種5類 1名 消防設備士甲種4類 1名
耐震化の促進及び省エネ、低炭素などに配慮した住環境の推進を図る。	建築物の耐震化の推進を図る。 省エネ、低炭素などに配慮した設備等の推進を図る。	市有施設及び民間建物の耐震化を推進する。 省エネや、低炭素に配慮した設備等の導入に努める。	建物の耐震化と長寿命化を図る。 省エネや、バリアフリー、低炭素に配慮した建物環境を整備する。	市営住宅バリアフリー化 2件 市営住宅外壁改修 2件 市営住宅昇降機改修 1件 民間住宅耐震診断 10件 民間住宅ブロック塀除去 3件
空き家対策及び公営住宅の適正な管理に努める。	老朽空き家の抑制等を図る。 公営住宅の適正な管理や指定管理による住民サービスの向上を図る。	空き家の所有者に対し、情報提供及び指導助言など啓発に努める。 民間のノウハウの活用によりサービスの向上を行う。	空き家等に関するセミナー・相談会の開催 長寿命化計画による公営住宅の計画的な修繕・改善	空き家対策セミナー 1回 老朽危険空き家除却 8件 市営住宅沖原団地統合建て替え着手

都市開発部(建築政策担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建築政策担当部長 坂 上 政 行

安心して暮らし続けられる、人にやさしい持続可能な住環境の実現に取り組みます。

建築指導課 設定者 建築指導課長 兼 田 義 浩

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
建築や開発等の相談による、 窓口や電話での適切な対応	市民や業者への質の高い行政 サービスの提供	市民や業者が満足する行政 サービスを受けられる。	建築や開発等の相談による、 窓口・電話での対応は、正確・ 迅速・丁寧を意識して対応し、 相談内容等を共用フォルダ内 の受付簿に入力し、必要に応じ て供覧等を行い、課内・班内職 員の情報の共有を図る。	相談内容等を記入した記録簿 により、対応内容を逐次確認 し、課内で情報共有を図り、不 明な点や疑義が生じた場合 は、課内協議に諮り、適切な対 応を行った。
各種申請、届出等に関する、的 確な審査及び検査の実施	職員の専門知識のスキルアッ プ	権限移譲による全ての規模等 の許認可事務に対応するため に、職員の専門知識のスキル アップを図り、的確な審査及び 検査を実施する。	職種やレベル等に合った各種 研修の受講、課内・班内研修、 自己学習等により、審査・検査 能力の向上を図る。	全国建設研修センターなどの 研修機関で開催される研修を Web講習で受講し、専門知識の スキルアップを図り、実務へ反 映することができた。
定期報告制度の適確な運用に よる維持管理を通じた安全性 の確保	既存建築物等の安全性の確保	建築物及び建築設備等の定期 報告制度の周知を図り、前回 の報告よりも、報告率アップを 目指す。	定期報告対象となる建築物及 び建築設備等の所有者等に対 して、定期報告制度の案内文 を送付し、未報告者には督促を 行い、必要に応じて立入調査を 実施するとともに、点検をする ように促し、適正な維持管理を 行うように指導する。	定期報告の対象物件の管理者 等に案内文を送付するなど報 告の周知を行い、立入調査を 実施した際は、適正な維持管 理の指導を行った。

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 塩 中 京 子

市民と協働しながら地域の課題を解決し、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組みます。

地域振興課 設定者 地域振興課長 上 田 勝 久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
経営資源である観光施設の活用を推進する。	地域資源活性化事業の有効活用	銭壺山から眺望できる瀬戸内海や桜の景観を改善することにより観光客を増加させる。	①銭壺山山頂の雑木等の伐採 ②銭壺山山頂の桜の維持管理 ③簡易休憩所の整備	3点の取り組みについては委託、職員での実施によって達成している。
災害時の逃げ遅れゼロに向けた自主防災組織の強化、活性化を進める。	・活動が停止している自主防災組織の再構築 ・自主防災組織を起点にして住民へ安全な避難行動の周知	・活動停止の自主防災組織を再結成させる。 ・早期に避難行動を起こす住民の増加	・第1分団地区自主防災会傘下の自治会に対して説明会と再結成支援の実施 ・住民に早期避難の必要性の研修を2つの自主防災会で行い、各世帯で避難カードの作成を促進する。	自主防の再活動への支援は2回の協議を設けて進めている。避難カードについては作成中で来年度配布に向けて進めている。
消防団の充実を推進する。	各分団で改善が必要な資器材や設備の修繕や改修を行う。	活動時の危険要因の減少	可搬ポンプ積載車の改修	可搬ポンプの充電設備について、緊急出動時に充電器を手動で外さなくても自然に外れるように改良している。これにより、緊急時の出動による充電器およびポンプ接合部の破損がなくなった。
業務の見直しや改善を行うことで効率化を図り、市民との協働に取り組む体制を高める。	定型業務における業務改善に取り組む。	定型業務に費やす時間の短縮が図れる。	定型業務の一部電子化の推進	消防団の処遇改善の法改正のため、本庁で電子化の整備をするjことになった。

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 塩 中 京 子

市民と協働しながら地域の課題を解決し、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組みます。

市民福祉課 設定者 課長 村 重 典 則

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民に満足していただく接遇・ 応対・保守	・挨拶 ・市民目線に沿ったサービスの 提供	市民が満足する窓口サービス が受けられる。	課内で機会あるごとに反省す べき点などを話し合い、その都 度改善する。	・来所されたお客様に対し、常 に挨拶をし、声掛けを行うこと で、速やかに各々の窓口へ案 内することができた。また、分 かりやすく説明を行い、申請受 付や証明発行等を行うことがで きた。

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 塩 中 京 子

市民と協働しながら地域の課題を解決し、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組みます。

農林建設課 設定者 農林建設課長 岡 崎 勝 則

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域住民や各種団体と協働して、コストの削減と利便性の向上を図る。	市民協働による市道及び公園の維持管理の実施。	生活道路及び公園について市民と協働して継続的かつ適切な維持管理を実施する。	自治会単位で自主的に地域の公共施設の草刈りや清掃等を行うことを定期化する。	自治会に地域の公園や市道の草刈り及び清掃への協力をお願いし、刈り取った草等は市で回収した。
市民の多様なニーズに対し、効果的でスピード感のある対応による市民サービスを提供する。	課全体が、統一性を持った協力体制と行動力を持つ。	生活道路や公園が安心・安全に利用できる。 農林水産物等への有害鳥獣による被害を防止する。	公共施設の定期パトロールにより不具合の早期発見と維持補修を行い、市民からの情報があれば速やかに現地確認し処理する。 猟友会と協力し、有害鳥獣駆除に取り組むとともに、対策補助金制度の利用促進を図る。	公共施設の定期パトロールを実施し、維持補修を行い、市民からの情報に速やかに対応することができた。 有害鳥獣については、小型箱罟を購入し希望者に貸し、対策補助金制度については、公報に掲載し利用促進を図った。

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中 原 健 登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

地域振興課 設定者 地域振興課長 岩 崎 幸 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域住民の自主防災に対する意識を高める。	自主防災組織及び自治会等による研修会開催の支援	各地域で開催される研修会への講師派遣 岩国市自主防災組織活動支援補助金制度の活用	・講話内容や資料等、相手方の要望を踏まえ、効果的な内容となるよう調整する。 ・補助金制度の活用に向け、制度の周知に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での自主防災活動は休止状態であった。小学校行事において防災教育を行い、子供のころからの防災教育の必要性を感じた。
	防災行政無線戸別受信機設置等情報伝達手段の周知	防災行政無線戸別受信機設置数増	各種研修会等様々な機会を捉えて防災ラジオの設置や、LINE等情報伝達手段の周知を行う。	特に梅雨や台風シーズンに、防災ラジオの設置、市民メールやLINE登録等情報伝達手段の周知、活用を推進した。登録が困難な高齢者等については、必要に応じて丁寧に対応した。防災ラジオ申込:37件
自治会及び地域との連携	地域活動の支援及び自治会との連携	各地域での活動の支援 情報発信及び地域との情報交換	・活用できる制度等の提案をする。 ・行政の情報を広く提供し、自治会等と情報を共有する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、総会、理事会は書面開催及び、研修会等は中止となったが、活用できる制度の説明などを冊子により自治会へ配布するなど、情報発信に努めた。また、連合会役員との意見交換を必要に応じて行い情報共有に努めた。
	地域おこし協力隊の新規配置に向けた協議	地域おこし協力隊新規設置に向けた具体的なスケジュール検討	地域おこし協力隊新規設置に向けた具体的なスケジュール及び、業務内容策定に向け、地域との協議・調整を行う。	地域おこし協力隊新規設置に向け、中山間地域振興課、周東総合支所地域振興課、祖生出張所、農林課、地域関係者等で協議を重ね、具体的な業務内容を策定した。来年度配置に向けスケジュール等調整中である。

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中 原 健 登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

市民福祉課 設定者 市民福祉課長 松 ノ 木 宏

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民満足度の向上につながる 接遇と適切な対応	・質の高い市民サービスの提供 ・職員間での情報の共有、関係機関との連携	・地域住民にとって最も身近な市役所窓口で、市民が満足する行政サービスを受けられる。 ・職員間の情報共有、関係機関との連携により、的確かつ迅速な対応を行う。	・来庁者に意識を向け、声掛けや丁寧な接遇を行う。 ・研修会に参加し、復命し、職員全体の意識向上を図る。 ・課内会議や職員メールなどで情報を共有し、正確な行政サービス提供を行う。 ・自分の担当以外の窓口業務を習得する。 ・職員間、関係機関との連絡を密にして市民の立場に立った対応を行う。	・課員全員で、意識して来庁者へ声掛けをし、丁寧な対応に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった研修会もあったが、開催された研修会には参加した。 ・班内で担当以外の窓口業務を習得し、市民の待ち時間が短縮するように努めた。
市民、各種団体、関係機関と連携して生活環境の保全や環境美化を推進	・町内一斉清掃等の清掃活動、不法投棄廃棄物への対応など	・生活環境の保全、環境美化の推進 ・不法投棄パトロールの実施	・市民、各種団体の協力や情報提供等により実施。 ・定期的な不法投棄パトロール、週2回(月・木)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一斉清掃は中止となった。個別の清掃美化活動に対しての支援、不法投棄廃棄物への対応に努めた。

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中 原 健 登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

建設課 設定者 建設課長 森 本 真 史

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
所管する公共施設において、維持管理に関して発生する事故件数の最小化	パトロールや点検を強化し、市民からの要望、情報に対する的確な対応と処理の実施	常に安全で安心して利用できるように、利用者の目線での維持管理に心掛ける。	パトロールは年間を通しての定期的な実施に加え、台風等の異常気象後は緊急的に実施する。市民からの要望等と合わせ、計画的な整備を行う。	当課で所管する公共施設において、維持管理に関しての事故を発生させない事を目標にしていたが、市道において、1件の事故が発生した事を大いに反省する。組織目標の取り組みについては、計画的に実施し、事故発生後においては、更なる強化により事故の発生を抑制出来た。

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中 原 健 登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

農林課 設定者 農林課長 中 嶋 直 樹

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
周東食肉センター及び食肉流通センターの安定的な運営と安心・安全な食肉の供給に努める。	・両施設の機器点検整備及び衛生管理 ・食肉流通センター及び污水处理施設の建替に向けての改修計画	・安定的な運営と安心・安全な食肉の供給 ・周囲の環境に配慮した施設運営	・機器の日常点検、定期点検を確実に行うとともに、衛生管理についてはハサップ導入準備を行う。 ・施設の老朽化に伴い両施設（食肉流通センター・污水处理施設）の改修計画を進める。	周東食肉センターについては、日常の点検を確実に行う事で、当初の予定通り稼働を維持する事ができた。また、ハサップについては、6月より本格運用を開始し、衛生管理を徹底する事で、食の安心・安全に努めた。周東食肉流通センターについては、改修計画策定に向けて本庁所管課と検討、協議を行うことができた。
防災対策を意識し、所管する各施設での施設利用において安全確保に努める。	・公共施設の維持管理業務の実施	・常に安全で安心して利用できるように、利用者の目線での維持管理に心掛ける。	・市民からの要望等に合わせ、計画的な施設整備を行う。	当課が所管する施設において、適切な維持管理を行う事で、管理上の問題から発生した事故は無く、施設利用においては、安全確保に一定の成果が得られた。
農林業の経営支援の中で、新規就農支援及び担い手の育成に取り組み、生産基盤の整備を行う。	・農林業者及び各団体との連携や協働により、地域の実情にあった施策の実施	・農地や山林の適切な管理の徹底 ・農業経営の安定を図るため、諸施策を活用する。 ・農産物等への有害鳥獣による被害防止	・中心経営体となる担い手（新規就農者、協定組織）との連携による人・農地プランの推進 ・畜産農家との緊密な連絡体制 ・猟友会・捕獲隊と連携し、有害鳥獣対策を実施し被害を最小限に抑える。	就農相談や新規就農希望者の掘り起こしを実施し、計画的に就農開始ができるよう関係機関と連携し、就農計画の作成支援を実施した。有害鳥獣については、地域住民からの通報など、有害鳥獣捕獲隊と連携し速やかに対応できた。

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中 原 健 登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

玖珂支所 設定者 玖珂支所長 塩 屋 伸 雄

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域の防災リーダーとなる防災士を新たに1名以上養成し、主体となって研修会などを行うことで、地域住民の防災意識を高め安心安全の向上を図る。	防災士の養成支援	防災士としての知識と技能の習得を支援し、防災士を中心とした地域の自主防災活動を推進していく。	①地区防災組織と防災士養成に向けた協議 ②防災士養成講座受講者の選考支援 ③防災士養成講座の受講	・防災士としての知識と技能の習得のため、防災士養成講座を2名が受講し、資格を取得した。
	防災教育研修会の開催支援	防災士を中心とした防災教育研修について、小・中学生等を対象として開催し、防災・減災に対する意識づけを行い、防災意識の向上を図る。	①実施計画提案 ②防災教育の内容の決定 ③防災教育の実施支援 ④防災教育に対する評価助言	・玖珂中学校2年生(91人)を対象に防災教育研修会を開催、各単位自治会(50人)を対象に自主防災リーダー研修会を開催し、防災に対する意識の向上を図った。 なお、幼稚園や小学校は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。
支所窓口で案内待ちの来客を減少させ、住民目線でのサービスの提供を基軸とした接遇を実践する。	接遇の向上推進	支所窓口での来客に対する意識づけを行うとともに、来客の導線を確認し、誘導する案内板等を検証する。また、接遇研修等によりマナーを習得し、接遇の向上推進を図る。	①窓口で来客の導線の確認、誘導する案内板等の検証 ②接遇研修ビデオ等を活用した研修 ③問題点等の確認、検証、改善策の検討 ④改善策の実施	・接遇研修については玖珂支所内職員全員を対象に実施し、大きな問題は生じなかった。 またそれに基づき、来客者に積極的に声掛け等をし、窓口業務を含め新施設の案内を円滑に実施した。

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 沖 晋 也

地域住民と協働し、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

地域振興課 設定者 地域振興課長 川 上 洋 二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域コミュニティの維持に努め、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを推進する。	・集落支援員を活用し、市民の市政への参加促進を図る。	・協働事業件数の増加	・市民や市民活動団体等がまちづくりに参加できる機会の提供や活動の場の整備に努める。	・地域ささえ愛交付金事業を利用し、地域課題解消に向けた取組を促進した。 草刈り等の自治会の環境整備活動を中心に16事業に交付決定を行い、コロナ禍の影響で前年度比2事業減となったものの、うち2団体が新規に活用する結果となった。 また、錦地域で採用1年目の集落支援員が、管内各地の自治会や団体等を訪問し、人とのつながりや情報を蓄積することで、住民の市政参加への土台づくりを行った。
地域団体と連携した体験交流事業を推進する。	・体験型旅行の誘致	・交流人口の増加	・体験型旅行の誘致・推進により、地域全体で都市部からの住民を受け入れ、一緒になって体験することで、地域住民と都市部住民の交流を深める。	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により都市住民等との交流が困難であった。 ・中学校2校の修学旅行(347名)の日帰り体験を実施した。 ・インバウンド等の受入強化のため、英会話教室を計8回開催、37名が参加した。
公共交通を守り育てる意識を高め、利用促進や利便性向上を図る。	・公共交通に関する情報提供の推進	・生活交通バス等の利用者数の増加	・乗降調査等を参考に運行経路、ダイヤの見直し、デマンド化の検討を行い利用を促進する。	・コロナ禍の影響が公共交通機関の利用にも表れており、生活交通バス等の利用実績は前年度並みに止まっている。今後も引き続き利用者のニーズを把握し、利便性の向上に取り組みたい。

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 沖 晋 也

地域住民と協働し、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

市民福祉課 設定者 市民福祉課長 藤 井 一 嘉

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
待遇能力及び事務処理能力の向上により来庁者が満足できる対応をする。	窓口対応マニュアル及び業務マニュアルの充実と共有	・来庁者のニーズを的確・迅速に判断し、担当班・担当者に引き継ぐ。 ・課員が課内業務全般について把握している。	・来庁者に対する声掛けの意識を向上させる。 ・各班の業務マニュアル等は常に最新・最善の状態に維持し、班内・課内で共有する。 班内検討会(4月～3月) 課内検討会(10月～3月) 成果報告(12月～3月)	業務マニュアルは常に見直しを行い、最新状態を維持した。また、課員・班員が共有できるよう課内共有フォルダにまとめ、探しやすくわかりやすいマニュアルとして日々更新を重ねている。
市民や関係機関等との折衝記録をわかりやすく整理して記録し、各班内で共有する。	各班内で情報共有できるファイル管理方法を研究し、整理活用する。	・記録した情報を正確に引き継ぎ、いつでも誰でも速やかに活用できる。	・取組中の案件や折衝記録を共有できる保管方法を研究し、整理活用する。 班内検討会(4月～3月) 課内検討会(10月～3月) 成果報告(12月～3月)	地籍調査班、福祉班については、情報を共有できるファイルを活用している。市民税務班については共有できる情報に制限があるため、できるものとできないものを仕分け、活用するための研究を行った。

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 沖 晋 也

地域住民と協働し、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

農林建設課 設定者 農林建設課長 坂 本 泰 司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
担い手の育成及び農林業生産基盤の整備を行い、農林業者の生産活動を支援する。	・直接支払制度など農地維持施策の実施 ・農林業生産者支援制度の活用 ・獣害防止対策事業の活用	地区の主たる農地が適正に管理されている。	・協定組織や農林業生産者へ支援事業の情報提供をする。 ・畜産農家との連絡を緊密にする。 ・猟友会と連絡体制を整える。	農家に積極的に情報提供を行い、水田の多面的機能維持計画の認定数を伸ばした。獣害防止対策も例年並みの申請件数があり被害の軽減に効果を発揮している。適切に管理されている農地の減少を少なく抑えている。
高齢化により低下した集落機能をサポートし、道路などライフラインの維持を行う。	・道路維持業務、下水道維持業務の実施 ・各自治会との協働による道路の維持、水道管理組合への適切なサポートの実施	市道などのライフラインが良好に機能している。	・協働による道路清掃など実施する。 ・地元管理施設のトラブルの際は適切に支援する。	給水施設のトラブル時の支援を早期に行い影響を小さく抑えることができた。しかし道路、下水、給水施設などライフラインのトラブルが頻発した場合の対応には不安を残している。
利用者が快適に利用できるよう、所管する交流施設を適正に管理する。	施設の状況に適応した維持管理の実施	住民や地元団体が施設を利用し、生産・交流活動が継続されている。	・管理施設の現状の把握をする。 ・地元管理団体との連絡を緊密にする。 ・各種利用申請についての適正な処理を行う。	コロナ禍で交流活動については制限され十分行えなかった。しかし、施設利用の情報発信は地元団体と協力して継続し利用率の低下は少なかった。

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 沖 晋 也

地域住民と協働し、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

美川支所 設定者 美川支所長 森 田 英 司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
適切な措置を速やかにとることができるチームワークを構築し、市民の理解と納得が得られる事務処理の改善件数を増加させる。	・市民福祉班内での連携を密にし課題の共有を図る。 ・課題に対する改善策を具体的に検討し実行する。	市民の理解と納得が得られる事務処理の改善件数を増加させ、市民の満足度を上げる。	定期的に班内で、発生した情報・課題を共有し、改善策を検討・実施する。 次の検討時において実施状況の報告・検証を行う。	班内で情報共有を図り、住民サービスの向上に繋がる事ができた。今までに確認されたミス事案を含め改善策を実行したことで、今年度は主だったミスはなかった。
地域内の観光客数、都市農村交流人口の増加	・美川農林漁業体験実習館及び関連施設の整備 ・美川大水車及び関連施設の活用方針についての検討 ・小さな集落が取り組む地域の活性化事業の支援	地域の観光交流資源の有効活用や地域の人たちが交流を通じた地域づくりを行うことで交流人口が増加する。	・美川農林漁業体験実習館及び出合ふれあい広場の整備 ・地域おこし協力隊員の募集 ・集落支援事業	農林漁業体験実習館のロビーと特産品加工室のエアコン、出合ふれあい広場の法面を修繕できた。10月に地域おこし協力隊が着任し、大水車等観光資源の活用を模索している。また、集落支援員が12月で退職したが、交流事業を地元と一緒に実施した。

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 浜 川 智 也

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

地域振興課 設定者 地域振興課長 宮 本 宜 明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
誰もが住み続けたいと思える地域づくりを推進するため、地域コミュニティの維持に努める。	集落支援事業	夢プランを作成している地域に対して地域コミュニティ活動の支援を行う。	①地域のふるさとづくり推進協議会と協働し、夢プランに基づく活動計画を協議する(4月) ②計画に基づき活動支援をする。(随時)	夢プランの作成地域に対し、活動計画に基づく支援を行った。長谷地区では、やまぐち元気生活圏活力創出事業を活用し、紙漉き事業継続のための資材を整備した。下畑地区では、朝食サービスを開始するなど、地域活動が活発化した。
公益的な組織(自治会、ささえ愛協議会、ふるさとづくり推進協議会等)との協働により、地域の諸問題の解決を図る。	協働による移住定住促進事業	移住応援団を募集し、町内全域で市民協働による移住・定住の促進を図る。	①ふるさとづくり推進協議会や自治会連合会役員会、総会で空き家情報登録制度の説明と移住応援団の募集を行う。(5月) ②移住応援団と協働し、空き家の情報収集と調査を進める。(随時)	年度当初にふるさとづくり推進協議会や自治会連合会役員会で制度の説明を行い意識の高揚に努めた。その結果、移住応援団との協働により空き家登録4件、成約2件(3人)の実績を上げることができた。
市民の防災意識の高揚を図り、災害時に迅速に対応できるようにする。	協働による自主防災事業	自治会連合会と協働し、各地域の自主防災組織の再構築を図る。	①自治会連合会で自主防災組織の状況について説明(4月) ②自主防災組織の避難計画や緊急連絡網の更新を行う。 ③自治会連合会と協働し、地域防災研修会を開催する。(11月)	秋掛地区自主防災組織の避難計画及び緊急連絡網の更新を完了した。また、長谷、北門、阿賀地区の緊急連絡網更新の支援を行った。秋掛地区で開催予定だった地域防災研修会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 浜 川 智 也

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

市民福祉課 設定者 市民福祉課長 佐 伯 重 樹

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
常に思いやりと笑顔の対応を心掛け、市民に満足される接遇と業務を遂行する。	・接遇力向上業務 ・業務改善業務	・接遇力の向上により市民に信頼される。 ・業務改善により効率的に業務を推進する。	①接遇の改善 ・問題点の確認、検証及び改善協議の実施 ・接遇研修等の活用 ②業務改善 ・業務改善策の提案(4月～5月) ・改善策の決定(5月) ・改善運動の実施(6月～12月) ・改善運動の検証・結果報告(1月)	・接遇改善については、朝礼時に職員相互で定期的に注意喚起をおこなった。また、個別面談時に実施状況を確認することで課員全員が接遇改善に努めた。 ・業務改善策例としては、地籍資料の整理整頓を実施することで資料必要時にスムーズな対応可能となった。また、新型コロナウイルス感染対策として、税の申告会場と待合室を変更することで、感染防止や個人情報の漏洩防止に努めた。

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 浜 川 智 也

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

農林建設課 設定者 農林建設課長 高 辻 英 明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農林業の経営支援と育成	農業の将来を担う経営体や担い手を育成するとともに、魅力的でやりがいのある産業とするため農業経営支援や農業環境の向上を図り、生産性の向上に向けた支援。	中心経営体に集積・集約化を推進する。	①農業営農法人の経営安定に向けた取組【集落営農法人等パートナーシップ協議会】(通年) ②認定農業者の継続更新(3月)	①パートナーシップ協議会において、中心経営体に集約化する協議を重ねてきたが、各農業法人の意向もあり難色を示されている。今後も引き続き協議していきたい。 ②認定農業者は、7件の継続と新規1件の認定を行った。
生活道路の安全性の確保	地域内交通の安全性・快適性の向上を図るため、身近な生活道路の整備・改修を計画的に進める。	生活道路の安全性と利便性を確保するため、道路の危険箇所等、早期発見・早期整備の実施	①日常のパトロール、点検の強化により異常箇所の早期発見、早期整備に取り組む(随時)。 ②市民からの要望、苦情に対し速やかに対応する(随時)。	①パトロール、点検等の強化により危険箇所の早期発見、早期整備に努めた。 ②市民からの要望・苦情については迅速な対応に努めた。
所管施設の適正管理	安心・安全で次世代に負担をかけない最適な公共施設を目指すため、施設保有量の最適化、市民ニーズに対応した施設の活用、計画的保全と健全な管理運営の取組を進める。	「公共施設管理者のための施設点検(自主点検)の手引き」に基づき、5月中に全施設の点検を実施	①年1回程度の定期点検(5月) ②月1回程度の日常点検 ③災害時等の臨時点検	所管施設の定期点検及び日常点検の実施により危険箇所の早期発見に努め、対応することができた。

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 浜 川 智 也

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

本郷支所 設定者 本郷支所長 森 本 敦 彦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
住民の理解と納得につながる組織としての対応力を維持する。	・支所内の連携協力体制の充実 ・地域住民との協働の推進	・支所職員全員が支所内の業務を把握している体制をつくる。 ・支所職員と地域住民の協働により関係事業を実施する。	・支所内の2班(地域振興班、市民福祉班)が業務の効率化に向けて取り組む。 ・地域の諸行事や地域住民に関係する事業について、各種団体及び地域住民との協働による企画運営を実施する。	支所内の連携協力体制がうまく機能し、今年度も効率よく業務が遂行できた。今年度も地域行事のほとんどが中止となったが、自治会連合会、ささえ愛協議会との連携協力により地域住民に関係する事業は円滑に実施できた。

出納室の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 会計管理者 村 上 さ ゆ り

市民の財産である公金を出納保管する組織として、適正かつ効率的な会計事務を執行します。

出納室 設定者 出納室長 村 上 さ ゆ り

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
公金の適正な出納及び保管に努めるとともに、更なる効率化に努める。	支払い事務の効率化	フロッピーディスクを媒体として行っている口座振替のデータ授受を伝送化し、事務の効率化を図る。	歳出のデータ授受について、指定金融機関との協議等、検討を開始する。	伝送方法の情報収集・検討を行った。 検討結果に基づき、令和4年度中にフロッピーディスクによるデータ授受を伝送へ切り替える予定。
	支出帳票等の適正な審査事務を実施するとともに、更なる効率化に努める。	正確かつ迅速な審査事務の実行	支出関係書類について、的確で公正な審査を実行し、不備を改善することにより、支払業務の適正化及び効率化を推進する。	審査において判断に迷うとき、新規の案件などのときは班内で協議し課題解決を図った。また新規の給付金への対応では出納班とも情報を共有し事務を進めた。
	差し戻し件数の削減	各課会計事務担当者の事務処理能力を高め、差戻件数の削減を図る。	①会計事務の研修を行う。 (ビデオ研修) ②口座払い締切日や、会計事務留意点を掲示し、情報提供に努める。 (随時)	①研修内容を録画し、オンデマンド配信による研修を実施。 ②祝日により定期締切日がずれるときは、掲示板で連絡した。また、差し戻し要因調査の結果をもとに留意点をまとめ、掲示板で周知した。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育政策課 設定者 教育政策課長 遠 藤 克 也

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心・安全に教育が受けられる 環境整備	岩国市学校施設長寿命化計画 に沿った学校施設整備事業	より良い教育環境の確保、効 率的・効果的な老朽施設の再 生によるトータルコストの縮減、 予算の平準化などを旨とする。	学校規模・配置の適正化との 整合性を図りながら、学校施設 の更新を行う。	老朽化している灘小学校の屋 内運動場の改築に向けて、設 計業務に着手するとともに、大 規模なトイレ改修事業(2校)や 特別教室の空調設備の整備 (6校)を行った。
岩国市全体が英語の学び・学 び直しや国際交流の機会が充 実した「英語交流のまち」を実 現し、地域活力の向上を目指 す。	英語交流のまちIwakuni推進事 業	英語の学び・学び直しや国際 交流の機会が充実した「英語 交流のまち」を実現することで、 「住みたい」、「住み続けたい」、 「子育てをしたい」、「教育環境 に優れた」まちとして、地域の 活力の向上を図る。	英語交流のまちIwakuni創生プ ロジェクト基本方針に基づき、 英語交流や国際交流事業の交 流拠点となる(仮称)英語交流 のまち推進センターの開設準 備を行う。 ・整備工事 ・開設準備運営業務ほか	英語の学びや学び直し、国際 交流機会の充実を図る拠点施 設として、令和4年3月に、英語 交流センター『PLAT ABC』を 開設し、体験活動・交流活動 を通じて、英語への興味や関心 が深まる各種イベントや講座等 を開始した。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

学校教育課 設定者 学校教育課長 林 孝 志

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
ICTを活用した学習活動の一層の充実	ICTを活用した教育の推進	ICTを活用し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育を実現する。	◆児童生徒の情報活用能力を育成するため、児童生徒に身につけさせたい力を明確にして体系的に指導する。 ◆AIDリルや授業支援ソフトを活用し、個別最適な学び、共同的な学びの一層の充実を図る。 ◆教職員のICT活用技能向上に向けた研修を実施し、授業での効果的な活用や業務の効率化を促進する。	情報活用能力の体系表を作成・共有することで、ICT活用に関して一貫性のある指導ができた。 タブレット端末へのソフトの導入や設定管理により、授業での端末活用を大きく進めることができた。 ICT活用に関する研修講座を設けたり、学校の研修に参加したりといったことを通して、教職員のICT活用スキルを全体的に向上させることができた。
子供たちが行きたいと思える教育環境づくり	学校環境向上支援事業	子供たちが、安全に安心して教育を受けることができ、安全に通学できる環境づくりを目指す。	◆学校図書館の児童生徒用図書や授業で使用する教育備品の充実を図る。 ◆通学距離が長くて困っている児童生徒に対して、スクールバス・スクールタクシーの運行や、遠距離通学費補助金により、通学手段を確保するとともに、通学路の安全の確保を図る。 ◆就学援助費により財政的負担の多い保護者を支える。 ◆各種健康診断を実施し、健康の維持増進を図り、災害共済給付制度により不慮の事故等に備える。	各学校に経費配分を行うことにより、優先的に必要な備品等の購入を図ることができた。 通学距離が長い児童生徒に対するスクールバス・スクールタクシーの運行、必要な通学路照明の設置、道路管理者への通学路の危険箇所整備への情報提供を行った。 就学援助費・就学奨励費等の申請への周知を行い、保護者の経済的な負担軽減に結びつけることができた。 児童生徒に健康診断を実施するとともに、申請に基づき災害共済給付の支給を遅滞なく行った。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

学校教育課 設定者 学校教育課長 林 孝 志

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心安全で魅力ある学校給食を提供するとともに、地場産の食材を活用し子供たちにおいしく給食を食べてもらうためのさまざまな取組を行う。	学校給食・食育の推進	安心安全で魅力ある学校給食を提供することで、子供たちが健やかに成長し、望ましい食習慣を身に付け、食を楽しむ「豊かな心」と食を通して「生き抜く力」を育む。	◆成長期にある子供の心身の発達と健康の保持増進を図るため、栄養バランスのとれた安心安全な学校給食を提供する。 ◆食の正しい知識を習得し、食に携わる人々への感謝と理解を深めるため、食育だより、地産・地消だより等の情報発信を行う。 ◆望ましい食習慣や豊かな心を養うため、地場産の食材を活用し子供たちにおいしく給食を食べてもらうための取組を行う。	市立小中学校において、継続的に学校給食の無償化を実施した。 安心安全な学校給食を提供するとともに、成長期にある児童生徒の望ましい食習慣を見身につけるため献立の工夫を行った。 地産地消については、地場産食材を積極的に利用する週間を年に3回設定し推進を図った。 食育だよりを毎月発行し、これに付随して、特に地場産食材の使用についての情報発信を行うため、給食放送原稿に記載し、児童生徒の喫食時の給食放送を行った。
子供たちの健やかな成長を図るため、幼少期から小中学校9年間を見通すことで一貫した教育の推進を図る。	小中一貫教育の推進	義務教育9年間を通して、系統的・継続的な学習指導及び、生徒指導を行うことで、確かな学力、健やかな体、豊かな心の育成を図る。小中ギャップや10歳の壁など、学校種の違いや発達段階で生じる子供たちの不安や負担を軽減する。	◆各学校の実態に合わせて、カリキュラムづくりを行う。 ◆小中一貫教育の更なる深化・充実を図る。	学校・家庭・地域が連携・協働し、各中学校区の特色ある教育活動を持続的に取り組むことができるように、「学校・地域連携カリキュラム」を作成した。 各学校の小中一貫教育担当者の研修会を開催したことで、小中一貫教育を推進する核となる教員の人材育成を行うことができた。 岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業として、研究校を指定し、研究成果を発表することで、市内全域の取組を促進することができた。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

青少年課 設定者 青少年課長 福 屋 憲 道

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
青少年の健全育成と生徒指導上の諸課題に対する支援の充実を図る。	①関係機関との情報を共有する協議会の定期的な開催 ②校内ケース会議への積極的な参加	①各協議会において、目標と情報を共有する時間を確保する。「愛の声かけ2000人」 ②校長会及び生徒指導主任会において、適切な情報の提供を行う。「学校訪問500回」	①補導員研修会の実施(年3回) ②校長会での所管説明(年3回) ③生徒指導主任への指示と情報共有(毎月) ④相談内容の蓄積と活用	①感染症に伴い、今年度も実施することができなかった。 ②年3回の校長会において、生徒指導の課題への対策について、共通理解を行った。 ③学校訪問を年間500回以上行い、学校と寄り添ってきた。 ④生徒指導対応データベースの活用を行ってきた。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育センター 設定者 教育センター所長 福 屋 憲 道

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
学校訪問や研修を通して、学校における教育相談担当を中心とした教育相談体制の充実を図る。	①教育相談担当を対象とした研修会の充実 ②指導主事による学校訪問を実施することで各校の実態の応じた支援の充実	①全ての教育相談担当を対象とした研修会を年2回実施する。 ②指導主事による学校及び関係機関への訪問を年間500回以上行う。	①教育相談担当研修会の実施（6月・2月） ②校内ケース会議等への指導主事の参加	①年2回の研修を実施するとともに、ヤングケアラー等今日的な課題対しても研修を行った。 ②目標であった、学校や関係機関への訪問を500回以上行うことができた。
教育支援教室における「eラーニング教材」を活用した一人学びの充実を図る。	①各支援教室において、「eラーニング教材」の活用時間の設定 ②「eラーニング教材」の活用状況の把握と評価	①年度当初に各支援教室における「eラーニング活用計画」を把握する。 ②「eラーニング教材」の活用状況を月ごとに把握し改善に生かす。	①各支援教室への訪問による活用状況の把握 ②ICT環境の整備充実	①活用状況について、通室生及び指導員から聞き取りを行うとともに一斉に活用する時間を定めている。 ②モニタリングしている活用状況に応じて、より多くの児童生徒が活用できるように配慮している。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

科学センター 設定者 科学センター館長 中 村 洋 一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
科学への興味を育む環境づくり	・幅広い世代の市民に対し、科学に関する学習機会を提供する。 ・科学に関する研究・工作・発表に児童・生徒が取り組む機会を提供し、支援する。 ・科学センターの展示を充実させる。	・科学に関する講演会等に多数の市民が参加し、科学に対する興味関心を持ってもらう。 ・科学振興展覧会、科学振興研究発表会等に多くの児童・生徒が作品を応募する。 ・センターの展示品を変化させることにより、多くの市民に科学センターに関する興味を持ってもらう。	・特別科学講演会・セミナー・展覧会の実施 ・科学振興展覧会・研究発表会の募集、科学センターへの展示、表彰と相談会や同定会等サポート事業の実施 ・新しい科学おもちゃの製作・展示	・青少年サイエンスセミナーを夏・春の2回開催し、合わせて100名以上の児童・生徒が参加した。 ・「科学振興展覧会」へ小学生252作品、中学生159作品の応募があった。また「発明工夫科学工作展」に小学生3作品、中学生7作品の応募があった。 ・展示の充実のため、新しい科学おもちゃを製作し、「手作り科学おもちゃ展」を開催、133人の方が来館した。
学校では取り組みにくい体験学習の充実及び暮らしの中の科学や道具についての学びの推進	・「科学の面白さ」を伝えたり、「自然体験の場」を提供する講座やイベントの開催 ・日常で使う機会の多い道具の扱い方の指導	・子ども達の「なぜ、どうして」を引き出すように工夫された実験・工作・自然体験を通じて、「疑問を持ち、見通しを持って確かめ、発見する」という科学的なものの見方、考え方を身につける。 ・講座等での活動を通じ、子ども達がハサミ、カッター、ペンチ、半田ごてなど基本的な道具を扱えるようにする。	・科学教室、科学クラブ、科学の祭典、科学セミナー等において、①科学の基礎が学べるよう工夫された実験・工作・自然体験プログラム、②ハサミ、カッター、ペンチ、半田ごて等を扱うプログラムを充実させる。	・学校の単元に即した内容の科学教室を、小学3～6年生を対象に年間37回開催、250名以上の児童が参加し、科学の基礎について学ぶとともに、日常使用する道具の正しい使い方について学んだ。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

生涯学習課 設定者 生涯学習課長 村 重 加 代 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生涯学習講座等の参加者と講師を増加させる。	生涯学習講座の充実と講師の発掘	新規受講者、リピーター、受講件数が増加する。 講師登録者が増加する。	◆市民大学講座の充実 ◆市民活動団体の講師の掘り起こし ◆市内企業の社会貢献による講師の掘り起こし ◆イカルスの新たな利用者の開拓	◆市民大学講座は、哲学、終活、歴史以外の講座も実施、4講座 受講者数 191名 ◆市民講座イカルスの利用17件、受講者数273名 ◆市民講座イカルス講師新規登録数1名、新規講座数8講座 ◆市内企業による新規講師登録なし。
	学校・家庭・地域の協働による生涯学習講座の充実	新規受講者、リピーター、受講件数が増加する。	◆子育て学習会(小学校)の継続実施 ◆家庭教育学習講座(中学校)の継続実施 ◆地域連携教育活動の継続実施 ◆各講座において地域協育ネットの仕組みの活用を検討する。 ◆放課後児童教室との連携	◆小学校の就学児検診、一日入学の機会を利用して、32校中23校で子育て学習会を実施 ◆家庭教育学習講座を14中学校中8校で実施 ◆放課後子供教室は13地区で実施 ◆放課後児童教室での市民講座イカルスの利用3件

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

生涯学習課中央公民館 設定者 生涯学習課中央公民館長 村 重 加 代 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
中央公民館講座等の充実	地域、学校等と連携した公民館事業の推進	地域、学校等と連携した講座が増加する。	◆学校、地域と連携した講座の実施 (夏休みや参観日の利用の工夫) ◆放課後児童教室と連携した講座の実施 ◆他課と連携した講座の実施 ◆企業、団体と連携した講座の実施 ◆他の公民館と連携した講座の実施 ◆夏休みの子供の居場所や体験活動を意識した講座の実施 ◆子供と高齢者など異年齢の交流を意識した講座の実施 ◆国際交流を意識した講座の実施 ◆中学生の応援を募るなどの工夫をする。	◆学校、地域と連携した講座の実施 (46講座) ◆放課後児童教室と連携した講座の実施 (2講座) ◆他課と連携した講座の実施 (40講座) ◆企業、団体と連携した講座の実施 (1講座) ◆他の公民館と連携した講座の実施 (3講座) ◆夏休みの子供の居場所や体験活動を意識した講座の実施 (37講座) ◆子供と高齢者など異年齢の交流を意識した講座の実施 (2講座) ◆国際交流を意識した講座の実施 (3講座) ◆中学生の応援を募るなどの工夫をする。 (1講座)

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

文化財保護課 設定者 文化財保護課長 後 詳 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
文化財の保護	・シロヘビ屋外飼育場整備事業 ・民俗芸能まつり開催事業 ・文化財施設等の維持管理業務	・国天然記念物「岩国のシロヘビ」の保護及び保全のため、飼育環境の整備を行う。 ・民俗芸能の保存と伝承及び周知を行う場を提供する。 ・文化財の維持を図る為の環境を整える。	・旭町第二屋外放飼場の土壌改良等の施設改修を行う。 ・民俗芸能まつりの実施 ・旧目加田家住宅保存活用計画の策定	・旭町第二屋外放飼場の土壌改良等の改修を実施 ・民俗芸能まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・旧目加田家住宅保存活用計画策定委員会を立ち上げ、検討作業を実施中
文化財に関する各種の情報発信を行う。	・文化財等の調査資料の収集 ・シロヘビ保護管理業務	・市内の文化財を多くの人に知ってもらう。 ・国天然記念物「岩国のシロヘビ」を守り伝える意識を、子供たちに伝える。	・HPなどで情報提供を行う。 ・こども飼育員などの行事を実施 ・小学校でシロヘビの学習会を実施	・HPで情報提供を行うため、「岩国の文化財」の改定作業を開始 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら「シロヘビこども飼育員」等の行事を実施 ・市内4小学校でシロヘビの学習会を実施
価値付けができない文化財や歴史的資料等の調査・研究を行う。	・文化財保護業務	・文化財の調査や研究を行い、価値付けするため取りまとめを行う。	・文化財審議会の開催 ・埋蔵文化財の確認調査を行う。 ・未指定文化財の調査を行う。	・文化財審議会は、重要文化的景観の選定を文書連絡で対応した ・3か所(楠町三丁目:2か所、横山二丁目:1か所)で実施 ・文化財パトロールを実施し、随時聞き取り調査等を行った

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

岩国徴古館 設定者 岩国徴古館長 後 詳 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
学芸員の専門性を活かした事業の実施による博物館の利用率の促進	・教育普及関係事業の実施による利用促進 ・調査研究と成果の活用による利用促進	・多様な展示を実施することで、より幅広い世代の入館を図る。 ・各種講座の開催により、郷土の歴史への関心を高める。 ・研究成果を発信し、研究を深める。	・企画展の実施(年6回) ・常設展示の活用 ・郷土史研究会の開催(月1回) ・古文書講座の開催(月2回) ・書籍等の発行(年1種以上)	・企画展を年間6回実施(まん延防止対策のため日程変更あり) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各2回中止したが、郷土史研究会(10回・297人参加)、古文書講座(2種・各10回・349人参加)を実施した。 ・学芸員の研究成果を資料集として刊行
博学連携の強化	・博学連携事業	・学校と博物館が相互理解・連携し、博物館の利用によって子供たちの地域への関心や郷土を愛する心を育むとともに、博物館等の施設や所蔵資料の周知・利用によって博物館の活性化を図る。	・学芸員による出前授業、体験講座等の実施 ・体験教材の製作 ・資料集の作成	・学芸員による出前授業等を31件実施 ・体験教材として電子紙芝居及び歴史ブックレットを製作
博物館整備事業の実施	・岩国市博物館等施設再整備計画に基づいた博物館等の整備を行う。	・博物館基本計画検討委員会及びPT会議等を開催し、意見の整理、集約を行う。	・博物館基本計画を策定する。	・「岩国市博物館基本計画」を策定

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

中央図書館 設定者 中央図書館長 山 本 圭 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
図書館施設の整備、充実	・図書館施設の維持管理業務 ・資料の充実	・7図書館1分室の快適なサービス環境の整備を行う。 ・利用者の要望や、多種多様な資料の充実を図る。	・各館職員との定期的な情報交換・点検を実施し、早急な施設の修繕に努める(通年)。 ・適正な選書、選書会議の実施(通年)	・館長会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5、7～8月、1～2月を中止したが、7回(例年11回程度)行い、各館の運営状況や問題点等情報共有し、施設の安心・安全な維持管理に努めた。 ・選書会議を7回(例年11回程度)実施し、資料の充実を図った。
市民の読書活動の推進	・充実した講座・行事の実施 ・関係機関等との連携 ・市内小学生の図書館見学の促進	・市民と本を結ぶための行事や講演会、おはなし会等の開催 ・学校図書館部会等への参加、学校司書との情報共有を図る。 ・市内小学生の図書館見学を年間延べ20校とする。	・講演会(児童・一般)の実施(通年) ・古典文学講座の実施(全5回) ・おはなし会の実施(通年) ・ブックスタート、その他講座の開催(通年) ・市内小学校へ図書館見学依頼を実施	・古典文学講座を始め、講演会やおはなし会等も募集人数の削減や参加を予約制にするなど感染症拡大防止対策を図り198回(1,760人)開催した。 ・昨年度(136回2,019人)と比較し、実施回数は約4割増。 ・図書館見学は、19回(409人)で昨年度の17回(430人)と比較し、約5分減。 ・新たな取り組みとして、高校生によるおすすめ本の展示を開催。(市内2校)

地域の学習・文化・情報の拠点となる図書館	・図書館利用者の登録率の向上 ・レファレンスの充実 ・電子図書館の導入と利用の促進	・登録率を43%とする。 ・利用者からの様々な要求に応えることができるように努める。 ・電子図書館の早期導入に努め、わかりやすい利用方法の周知に努める。	・図書館施設利用者、図書館事業参加者へ登録依頼の実施。 ・県立図書館や職員課主催研修等を受講し広く知識を深める。 ・図書館ホームページ他への掲載	・市内人口に対する館外利用登録率は、電子図書館開館もあり、42.3%(昨年度41.3%)と登録率を伸ばすことができた。 ・電子図書館は、国の地方創生臨時交付金により、令和3年10月から導入したもので、令和4年1～2月の臨時休館時には、平時の約2倍の利用があり、非来館での効果を実証することができた。 ・今年度初めて、障害者雇用支援施設からの要望により、施設利用者の研修を実施。 ・電子図書館事業は、新聞各社に取り上げられた。
-----------------------------	---	--	--	---

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

由宇支所 設定者 由宇支所長 藤 中 公 子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生涯学習講座の推進	・成人対象講座の開催 ・子ども対象講座の開催 ・歴史民俗資料館特別展の開催	・生涯学習講座の参加者の増員に努める。 ・歴史民俗資料館の入館者の増員に努める。	・ニーズに応える講座を開催するため、講師の発掘や由宇地域協育ネット等と連携する。 ・三世代交流の場の提供や子供の居場所の確保に努める。	まん延防止重点措置期間中の三世代交流の風揚げは、中止となったが、コロナ対策を講じながら、成人対象に、関心のあるコロナ禍の救急医療や心の癒しとなるリズム体操、音楽等6回講座を開催、子ども対象に、体験講座を9回開催した。由宇歴史民俗資料館では、由宇出身の作家による文字アート展また、由宇歴史アラカルトの特別展を開催し、700人近い入館者があり、好評を得た。
教育施設の整備充実	・学校や生涯学習及び文化 ・スポーツ施設の適正管理	・施設(公有財産)の現地点検を1年に1回以上行う。 ・計画的に修繕管理を行い安全な環境を整備する。	・公共施設の自主点検チェックシートを活用し、状況の把握に努め、長寿命化の計画的な推進をする。	年次的な修繕計画である雨漏り、防音サッシ、グラウンドの夜間照明改修、文化スポーツセンターの駐輪場改築等、施設の安全な維持管理の整備を実施した。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

周東支所 設定者 周東支所長 加 藤 勝 巳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
施設の利用者、管理者の要望を把握し、計画的に施設の更新・改修をする。	・施設の適切な管理	・各種施設において、状況が把握され、老朽箇所が計画的に管理、修繕がされている。	・施設の管理者と毎月1回以上、連絡を取り、状況の確認を行う。	コロナ対応の情報共有もあり、頻繁に連絡を取り合った。異常が発見された場合、早急に現地確認を行い処理した。懸念されていた生涯学習施設の浸水対策工事が3年度に調査、検討し4年度に設計することとなった。
市民の声に耳を傾け、立場に立った事業展開をしていく。	・魅力ある内容の講座、イベントの開催	・PDCAサイクルによる内容の充実を図る。企画の協議、反省会を実施し参加者の意向が反映される。	・事前に学校や関係団体・グループと電話連絡や面接で連携を取り、ニーズを確認する。	関係者との面談や実行委員会での協議により、催しの企画をした。コロナ禍により実施できなかったイベントの内、ニーズの高いものは延期対応とした。書面も含めPDCAサイクルの実行に努めた。
業務内容の合理化、平準化を図り市民活動を支援する。	・業務分担の適正化	・玖珂、周東町内の住民の生涯学習活動が充実している。	・職員の業務内容を把握し、協議しながら適正配転を実施する。	支所統合後も住民サービスを落とさない意志のもと、業務を遂行した。職員と協議しながら理想的な体制づくりが出来つつある。コロナ禍でも団体、グループと連携を続け、生涯学習活動は継続されている。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

錦支所 設定者 錦支所長 下 村 豊

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生涯学習活動やスポーツ活動を充実させる。	・生涯学習講座、スポーツイベントの主催・共催による実施	・市主催、共催による生涯学習活動、スポーツ活動の実施回数・参加者数が増加する。	・生涯学習実施団体、地域スポーツクラブ等と連携を強化する。 ・部署内の協議を増やし、生涯学習講座の内容を充実させる。	市主催、共催による事業は、昨年度実績を超える46件、参加者1,450人（昨年度40件、1,208人）。とりわけ、令和3年度の地域文化講演会は、地域の文化団体と連携実施し、コロナ禍でありながら盛況となった。
学校施設、生涯学習施設を適正に整備する。	・学校施設、生涯学習施設の整備	・学校施設、生涯学習施設を安心・安全に利用できる。 ・施設利用者が増加し、生涯学習活動・スポーツ活動が盛んになる。	・各学校、地域住民、施設管理者と連携を強化して施設を整備する。	地域の生涯学習の拠点施設である錦ふるさとセンターのインターロッキングや錦清流小学校のプールサイド日除けの設置など、地域住民や学校等と連携して整備を実施した。
学校の適正配置を円滑に進める。	・美川小学校統廃合の円滑実施	・美川小学校、錦清流小学校児童の教育環境が向上する。 ・休校施設が地域のコミュニティの場として有効に利活用される。	・様々な課題について、保護者、学校、関係機関、地域住民と協議会を実施し、十分な協議のうえ統廃合を進める。	美川小学校の統廃合については、市・学校・地域住民等による休校準備委員会を立ち上げ、休校記念式典・休校記念誌・休校施設の3つの部会において丁寧な準備を進めてきた。それにより、適正な形で統合を迎える予定である。

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 三 浦 成 寿

心の豊かさと生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

美和支所 設定者 美和支所長 亀 弘 典 久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域の教育資源を活用した教育を支援し、今後も継続可能な教育・生涯学習活動を推進する。	・所管施設の今後の活用方針を検討協議 ・楽しく参加できる生涯学習を企画運営	・所管施設の利活用状況、維持管理の経費等により、今後の利用方向性を定める。 ・他団体（高齢者、小学校など）と共同実施する新しい企画の実施と生涯学習への参加者の増	・所管する全ての施設を有効活用し利用できる施設の中から、優先度を設けて取り組む。 ・参加者の要望を取り入れ、参加者が興味のある生涯学習を実施する。	・施設の老朽化により、修繕箇所も増える中、大規模修繕（文化会館、施設照明のLED化）などの計画策定が重要。 ・例年とは趣向の違う講座を組み入れながら実施。コロナ禍もあり、中止となった講座も多かったが、新しい講座は好評であった。

議会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 議会事務局長 鈴 川 芳 智

議員が議会活動、及び議員活動が適切に出来るよう、十分な知識と行動力を持った組織づくりを進めます。
 住民の関心を議会活動に引きつけるための高度な発信力を持ち、その機能を有効に発揮できる仕組みを構築します。

庶務課 設定者 庶務課長 岡 田 淳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
議会活動、議員活動に生かせる情報収集、担当課および局内の情報共有	・正確な情報提供ができるよう 情報収集、情報共有	・議会活動等が適切に行えるよう 環境整備 ・情報収集や情報共有・協議	・市議会のタブレット導入のための環境整備や議員活動のための資料の整備 ・担当課からの情報収集や、局内の情報共有、綿密な協議	各議員のタブレット使用が増え、資料の整理ができた。さらに議会内の情報共有ができるよう、現在使用されていない議員に講習を行う。
市議会に対しての市民の参画意欲が高まるよう情報を発信	・市民に議員活動、議会活動の内容・必要性、重要性を理解してもらえるような情報公開	・議会だよりの内容の充実、ホームページへの市議会の活動内容を掲載を行い、市議会の情報を周知	・新しい市議会だよりのづくりを行い、関心を高める。 ・次年度以降の議会だよりの構成等についての協議 ・市議会の活動の様子を幅広くホームページに掲載	市議会だよりのホームページを通じて議会活動の掲載について充実された。

議会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 議会事務局長 鈴 川 芳 智

議員が議会活動、及び議員活動が適切に出来るよう、十分な知識と行動力を持った組織づくりを進めます。
 住民の関心を議会活動に引きつけるための高度な発信力を持ち、その機能を有効に発揮できる仕組みを構築します。

議事課 設定者 議事課長 林 孝 造

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
議員活動、議員活動に生かせる情報収集や、担当課及び局内での情報共有	・正確な情報提供ができるよう 情報収集、情報共有	・議会活動が適切に行えるよう な環境	・市議会の適切な運営のため の環境整備や議員活動のため の資料収集及び整備	本会議及び委員会等において、議長及び委員長並びに議員の意見を反映するよう次第書等を精査し、確実な運営に努めた。また、審議及び審議に必要な情報収集、資料整備を正確に行った。
市民の参画意欲が高まるよう、市議会に対して関心を持ってもらうための情報を発信	・市民に議会活動、議員活動の内容、必要性、重要性を理解してもらえらる詳細かつ正確な情報公開	・議会の議案の審査及び運営についての情報を周知する。	・ホームページに、市議会会議録等の記録を掲載 ・議会運営システムの更新	会議録等を精査して作成し、公開することにより、正確な情報提供を行った。議会広報誌において、リンク付けによる周知拡大を図った。議会運営システムの更新を行った。

監査委員事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 監査委員事務局長 村 重 正 司

厳正で的確な監査を実施することにより、行財政の適法性及び経済性、効率性、有効性を確保し、市民から信頼される市政運営に寄与します。

監査委員事務局 設定者 監査委員事務局次長 高 村 和 恵

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
定期監査の実施	定期監査	監査結果が「良好」	・監査基準に基づき、年間の監査計画にそって定期監査を実施 ・各部局の指摘事項を前回監査時より減少させるため、監査チェック項目を様々な手段で事前に周知	年度当初に庁内掲示板で監査のチェック項目を周知。着眼点が前回と同一でないため単純比較はできないが、新たに押印の見直し等が行われたことにより前回に比べ事前審査指摘事項は増加。監査結果については「おおむね良好」
決算審査の実施	決算審査	審査意見が「誤りはない」	・監査基準に基づき、年間の監査計画にそって決算審査を実施 ・決算審査にあわせて、健全化指標審査を実施	提出された資料をもとに決算審査・健全化指標審査を実施。監査基準に基づき計画的に実施し審査意見は「誤りはない」
監査スキルの向上	研修	監査関連の研修を計画的に実施	・監査スキル向上のため、計画的に外部研修参加 ・研修受講後においては、受講内容を職場内で共有 ・人事異動による新規監査配属職員を対象に4・5月に職場内研修を集中的に実施することにより、監査知識早期習得を支援	計画的に外部研修に参加し、スキルの向上を行った。年度当初は異動職員に対し参考資料を配布し監査知識の習得を支援

農業委員会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農業委員会事務局長 中西 亮 二

農業の振興と中山間地域の保全のため、地域と行政を結ぶ懸け橋となる農業委員会組織を活用し、多面的機能を有する農地の適正な管理に取り組みます。

農業委員会事務局 設定者 農業委員会事務局次長 有馬 秀樹

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
遊休農地について、遊休状況を解消する面積を、毎年度増加させる。	農地利用状況調査(農地パトロール)及び農地利用意向調査の実施	農地の利用状況を調査し、遊休農地については、その利用に関する意向を把握することで、的確な指導・助言を行い、遊休農地の発生防止と解消による遊休農地面積の減少につなげる。	①農地利用状況調査実施準備(5月～6月) ②農地利用最適化推進委員による農地利用状況調査と現地指導の実施(7月～9月) ③調査結果の取りまとめ(10月～11月) ④農地利用意向調査の実施(12月～1月) ⑤調査結果に基づき、遊休農地の減少に向けての関係機関との調整	①農地利用状況調査実施準備(5月～6月) ②農地利用最適化推進委員による農地利用状況調査と現地指導の実績(7月～9月) ③調査結果の取りまとめ(10月～1月) ④農地利用意向調査の実施(2月～3月) ⑤調査結果に基づき、遊休農地の減少に向けての関係機関との調整
農業委員会総会の開催	農地法に基づく法定許可業務の適正な実施	総会で農業委員から承認を得られるよう申請書を整え、議案として諮る。	毎月1回実施する例) ①3月22日:申請書受付締切 ②3月25日:申請書目合せ ③4月16日:総会	毎月1回実施した。例) ①3月22日:申請書受付締切 ②3月25日:申請書目合せ ③4月16日:総会

選挙管理委員会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 選挙管理委員会事務局長 佐々川 周

公正・正確な選挙執行のため常日頃から準備するとともに、低下する投票率を向上させるため、啓発活動をより一層活発に行います。

選挙管理委員会事務局 設定者 選挙管理委員会事務局次長 活田 浩久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
衆議院議員総選挙の適切な管理執行	法令に基づいた正確かつ迅速な選挙事務の執行	公明かつ適正に選挙を執行することにより、選挙人の信頼を得ることができ、その結果、投票率の向上につながる。	・スケジュール管理の徹底 ・期日前投票所も含めた投票環境の改善 ・投開票事務フローの徹底 ・投開票速報の迅速化 ・選挙に関する適切な情報発信	衆議院の解散から選挙期日までが短期間であったことに加え、参議院補欠選挙と選挙期間が重なるという非常に厳しい状況の中、事務局と応援職員等が一丸となって、スケジュールや情報の共有に努めることにより、選挙の適正な管理執行を達成できた。 また、ゆめタウン南岩国の期日前投票所を初めて投票日前日に開設することにより、投票環境と利便性の向上を図ることができた。
山口県知事選挙の適切な管理執行				新型コロナウイルスの感染拡大により、県内全域に「まん延防止等重点措置」が適用される中、感染症対策に万全を期することにより、有権者に安心して投票していただくことができた。 また、ゆめタウン南岩国店の期日前投票所を、参議院補欠選挙に引き続き2日間開設することにより、投票環境と利便性の向上を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症への適切な対応	投票所等における効果的な感染防止対策の実施	コロナ禍においても、選挙人が安心して投票することができる。	・感染防止対策に必要な人員や機材等の確保 ・保健担当部局や支所等との連携強化 ・感染防止対策の選挙人への周知 ・投票所等の混雑状況に関する情報提供	チラシやホームページを活用し、「投票所における感染症対策」と「有権者をお願いする感染症対策」を効果的に周知するとともに、総合支所・支所の期日前投票所の開設期間を延長し、投票所の混雑緩和を図ることにより、有権者の安心・安全を確保することができた。
明るい選挙の推進	常時啓発事業や主権者教育の充実	有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、有権者の意思が正しく政治に反映される。	・啓発作品の募集、優秀作品の展示 ・選挙啓発物品の貸出し ・選挙出前講座の開催	啓発作品の募集を通じ、将来の有権者である児童・生徒の皆さんに、選挙・政治について関心をもってもらうことができた。 また、高校における出前講座の実施や短期大学の学生に期日前投票所の立会人に従事してもらうことにより、若者の政治参画意識の向上を図ることができた。